

4. 河川敷のごみ調査

4. 河川敷のごみ調査

河川敷に散乱しているのごみについて、分布や組成の状況を調査した。

調査は、まず橋梁を中心とした片岸約200mの範囲（上流側・下流側各100m）で河川敷に散乱しているごみの分布を把握した後、その中からごみの回収・組成調査を行う地点を選定した。

4-1 河川敷のごみ分布量調査

4-1-1 調査方法

(1) 調査方法

調査対象とする河川敷において、「河川ゴミ調査マニュアル」（国土交通省、平成24年）に記載のゴミ袋カウント法（図4-1-1）に準拠し、代表地点（河川延長方向10m程度の範囲）の散乱ごみ量を天端等の上端から20Lゴミ袋数に換算しながら反対側の端まで歩き、表4-1-1に示す「ゴミ袋数とランクの対応表」に基づき、各代表地点のごみ量（ランク）を記録した。

また、粗大ごみを見つけた際は、見つけた粗大ごみごとにごみ量（ランク）を設定し、確認位置とともに記録した。

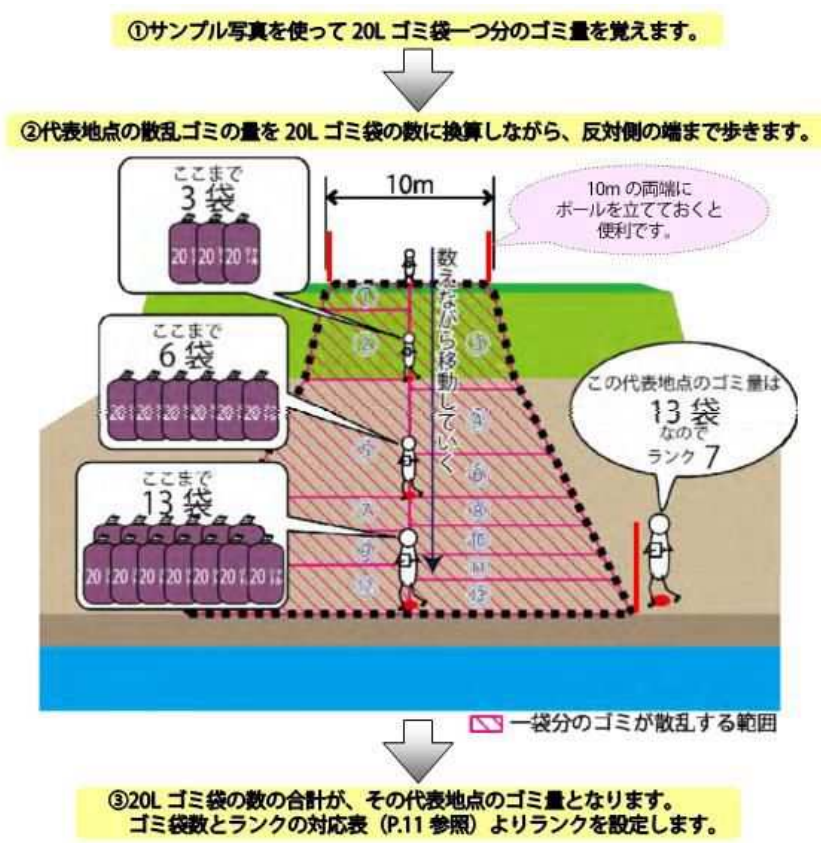


図4-1-1 ゴミ袋カウント法の概要（「河川ゴミ調査マニュアル」より抜粋）

表 4-1-1 ごみ袋数とランクの対応表

- 散乱ゴミ：河川延長方向 10m の範囲で回収したゴミの量（袋量）
- 粗大ゴミ：1 箇所のゴミの量（袋量）

ランク	20L のゴミ袋数量 (範囲)	回収した際のゴミの容量のイメージ	容量 (L)
0	0 袋	(自然物を除いて) 全くゴミがない	0
TT	約 1/16 袋 (1/10 袋以下)	500mL ペットボトルが 1~2 本程度	1.25
T	約 1/8 袋 (1/10~1/5 袋)	2.0L ペットボトルが 1 本程度 500mL ペットボトルが 3~4 本程度	2.5
1	約 1/4 袋 (1/5~1/3 袋)	2.0L のペットボトルが 2 本程度	5
2	約 1/2 袋 (1/3~2/3 袋)	2.0L のペットボトルが 4 本程度 200~350mL の飲料缶が 15 本程度	10
3	約 1 袋 (2/3~1.5 袋)	2.0L のペットボトルが 8 本程度 200~350mL の飲料缶が 30 本程度 ポリタンクならば 1 本分程度	20
4	約 2 袋 (1.5~3 袋)	2.0L のペットボトルが 16 本程度 ポリタンクならば 2 本分程度	40
5	約 4 袋 (3~6 袋)	2.0L のペットボトルが 32 本程度 みかん箱ならば 3 箱分程度	80
6	約 8 袋 (6~11 袋)	ドラム缶が 1 本分未満程度	160
7	約 16 袋 (11~23 袋)	ドラム缶が 1.5 本分未満程度	320
8	約 32 袋 (23~42 袋)	ドラム缶が 3.0 本分未満程度	640
9	約 64 袋 (42~90 袋)	一立方メートル程度	1280
10	約 128 袋 (90 袋以上)	軽トラで一台分程度	2560

[出典：河川ゴミ調査マニュアル（国土交通省、平成24年）]

(2) 調査地点

調査地点は、5河川各3地点とした（流下ごみ調査と同地点）。

調査範囲は、原則として橋梁を中心とした片岸約200mの範囲（上流側・下流側各100m）とした。

調査箇所は、調査範囲を20m間隔で「区分」として区切り、その区分の中から平均的なごみの量の場所10m幅を「代表地点」として計10箇所設定し、代表地点に橋梁下を含めた計11箇所を調査箇所とした*。その調査箇所の中から、相対的に「ごみが多い箇所」、「ごみが少ない箇所」、「ごみがほとんどない箇所」を各1箇所ずつの計3箇所を選定した（ごみが全くなかった箇所は選定していない）。

調査は右岸と左岸のうち、調査当日にごみが多い岸を対象に実施した。河川の上流から下流をみて、右側が右岸、左側が左岸となる。

* 「河川ゴミ調査マニュアル」（国土交通省、平成24年）では、調査範囲の中から、同じような散乱ごみの分布状況の範囲を「区分」として区切り、その区分の中から平均的なごみの量の場所を「代表地点」として設定することとなっている。しかし、本業務では上記の考え方にに基づき「河川敷のごみの組成調査」を実施するため、試験調査に基づき距離による区分を行った。

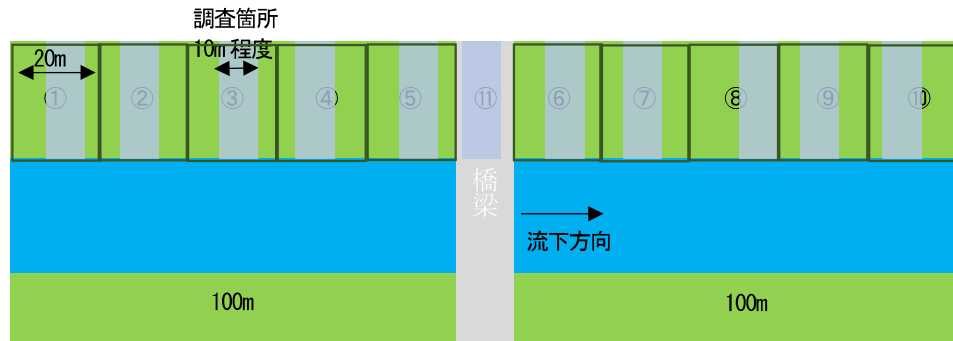


図 4-1-2 区分と調査箇所のイメージ

(3) 調査日

調査日は表4-1-2に示すとおりである。

また、調査回数は各地点1回とし、いずれも河川を流下するごみの調査期間中に実施した。

表 4-1-2 各河川の調査日

河川	河川敷の分布量調査
御笠川	令和6年2月15日
釣川	令和6年2月26日
長峡川	令和6年2月12日
建花寺川	令和6年2月9日
堂面川	令和6年1月29日 (前丁橋のみ30日に実施)

4-1-2 調査結果

河川敷のごみ分布状況と調査区間の概況は、表4-1-3に示すとおりである。なお、各代表地点の詳細調査結果は、資料-3（河川敷のごみ分布状況調査結果個票）に示すとおりである。

ごみ量（ランク）は御笠川がランク0～2（最頻値：3地点ともランクTT）、釣川がランク0～4（最頻値：3地点ともランクTT）、長峡川がランク0～4（最頻値：古川橋がランクTT及び1、稗田橋と折口橋がランクTT）、建花寺川がランクTT～6（最頻値：二瀬橋がランク2、4、5、伊岐須橋がランク1、立花下橋がランクTT）、堂面川がランク0～4（最頻値：3地点ともランクTT）であった。

また、各河川の代表地点別ごみ分布状況は表4-1-4～表4-1-18、地図上のランクと確認された代表的なごみの状況は図4-1-3～図4-1-14に示すとおりである。

表 4-1-3 河川敷のごみ分布状況と調査区間の概況

河川名	調査地点		調査岸	ランク	分布の特徴・調査区間の概況
御笠川	中流	筒井橋	右岸	TT～2	全体的にごみは少ない。河川敷に遊歩道がある。
	中流	下川原橋	上流：左岸 下流：右岸	TT～2	全体的にごみは少ないが、下流80～100mにごみが集中するポイントがある。上流部では水路からの流入がある。
	上流	白川橋	右岸	0～1	全体的にごみは少ない。河川沿いの道路は、人の往来が多い。
釣川	下流	河東橋	左岸	TT～3	支流からの合流点付近にペットボトルが多く散乱している。河川沿いの道路は、大型トラックを含めた車の往来が非常に多い。
	中流	赤間大橋	右岸	0～4	全体的にごみは少ないが、橋梁付近のランクが高い。河川敷に遊歩道がある。
	中流	釣川橋	右岸	0～4	全体的にごみは少ないが、一部に消火器や七輪等の大きなごみが投棄されている。
長峡川	中流	古川橋	左岸	0～4	上流部はごみが少ない。下流部は河川敷に降りる階段付近にプラごみが多く散乱している。また下流40～60mに、傘や杖が十数本入った袋が、草むらに隠れるように投棄されていた。
	中流	稗田橋	左岸	TT～2	全体的にごみは少ない。河川沿いの道路では、人や車の往来は少ない。
	上流	折口橋	左岸	0～2	全体的にごみは少ない。周辺は農地で、民家は少ない。
建花寺川	下流	二瀬橋	左岸	2～6	散乱ごみが非常に多く、その大部分が劣化している。下流40～80mでは、生活系ごみのほか、冷蔵庫やテレビの不法投棄がみられた。
	中流	伊岐須橋	左岸	TT～4	全体的にごみは少ないが、橋梁付近では、河川沿いのコンビニエンスストア由来と思われるごみが多く見受けられる。人や車の往来は多い。
	上流	立花下橋	上流：右岸 下流：左岸	0～4	全体的にごみは少ないが、橋梁付近には多く散乱している。人の往来はほぼないが、車の往来は多い。
堂面川	下流	仮屋前橋	右岸	0～4	上流部はごみが少ない。下流0～20mに、加湿器の不法投棄が見られ、その周辺にはごみが多く散乱していた。
	中流	七夕橋	左岸	0～2	全体的にごみは少ないが、橋梁付近には劣化したごみが多い。河川沿いの道路は車や人の往来がある。また、河川を横切る道路（七夕橋）は交通量が多い。
	上流	前丁橋	右岸	0～2	全体的にごみは少ないが、同じ銘柄のビール缶が複数散乱していた（新しいごみ）。河川沿いの道路は人の往来はほぼないが、車の往来が少しある。

表 4-1-4 代表地点別ごみ分布状況（御笠川：筒井橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
右岸	上流100～80m	10×10	TT	ペットボトル、プラ製容器包装、紙パック	—
	上流80～60m	10×14	T	ペットボトル、ビニール	—
	上流60～40m	10×18	TT	ビニール、空き缶、土嚢、プラ	—
	上流40～20m	10×24	TT	ビニール	—
	上流20～0m	10×24	2	ペットボトル、ビニール、紙、プラ製品	ごみが多い
	橋梁下	9×24	TT	プラ容器包装の破片、ビニール片	—
	下流0～20m	10×24	T	ビニール片、弁当ガラ	—
	下流20～40m	10×24	TT	プラごみ片、プラ製容器包装	ごみが少ない
	下流40～60m	10×24	TT	ビニール袋、プラ製容器包装	ごみがほとんどない
	下流60～80m	10×24	TT	ビニール片	—
	下流80～100m	10×23	TT	ビニール袋	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-3 調査地点とランク（御笠川：筒井橋周辺）





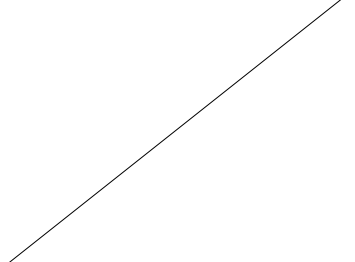
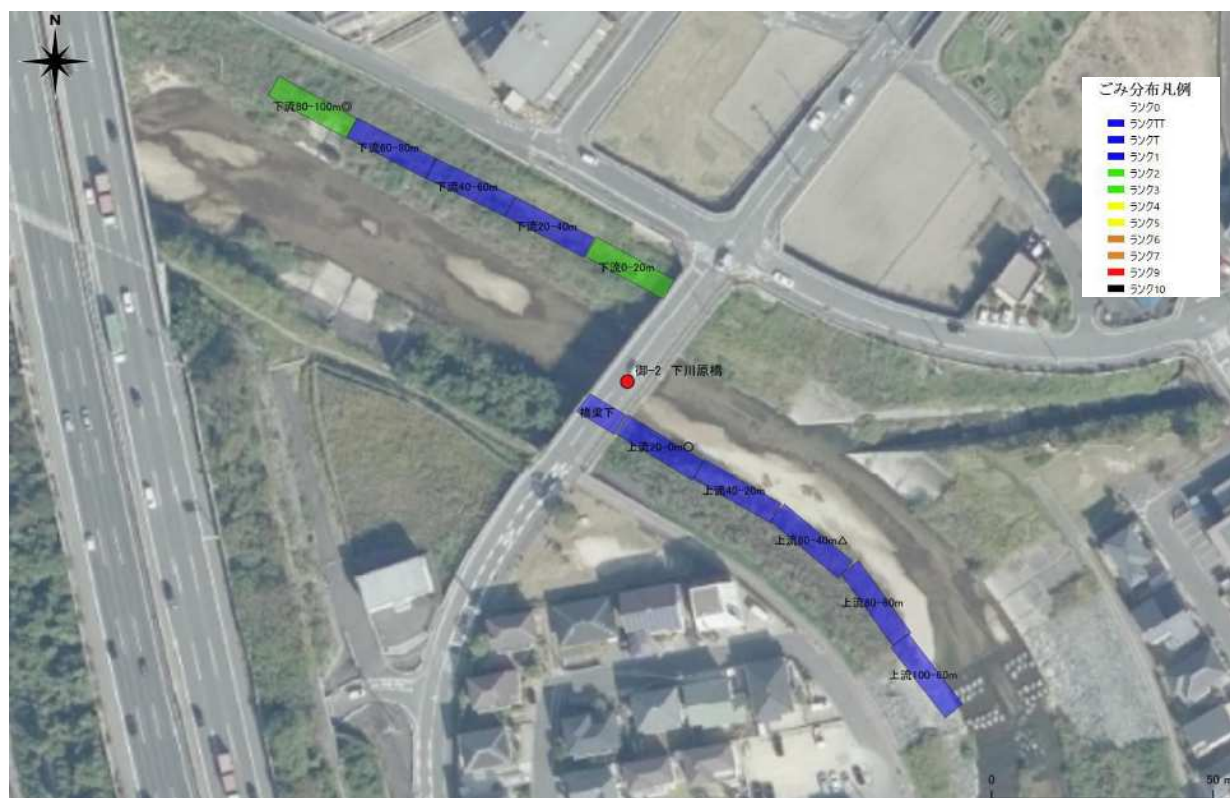
		
<p>プラ製容器包装</p>	<p>ビニール片</p>	<p>ペットボトルと弁当ガラ</p>
		
<p>土嚢</p>	<p>プラごみ片</p>	

図 4-1-4 確認された代表的なごみの状況（御笠川：筒井橋周辺）

表 4-1-5 代表地点別ごみ分布状況（御笠川：下川原橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
左岸	上流100～80m	10×16	TT	ビニール、タバコの吸い殻	—
	上流80～60m	10×16	TT	ビニール、手袋、タバコの吸い殻	—
	上流60～40m	10×14	TT	ビニール	ごみがほとんどない
	上流40～20m	10×11	TT	ビニール、マスク、プラ製品	—
	上流20～0m	10×11	T	ビニール、空き缶、ペットボトル	ごみが少ない
	橋梁下	9×10	TT	ビニール片	—
右岸	下流0～20m	10×22	2	クーラーバック、ウレタン	—
	下流20～40m	10×22	TT	プラ容器、ビニール片、カイロ、マスク	—
	下流40～60m	10×22	T	プラ製容器包装、ペットボトル、トレイ、プラ製品	—
	下流60～80m	10×22	T	プラ製容器包装、プラ破片、ペットボトル	—
	下流80～100m	10×22	2	ビニール袋、ペットボトル、ペン、マスク、プラ片、空き缶	ごみが多い



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

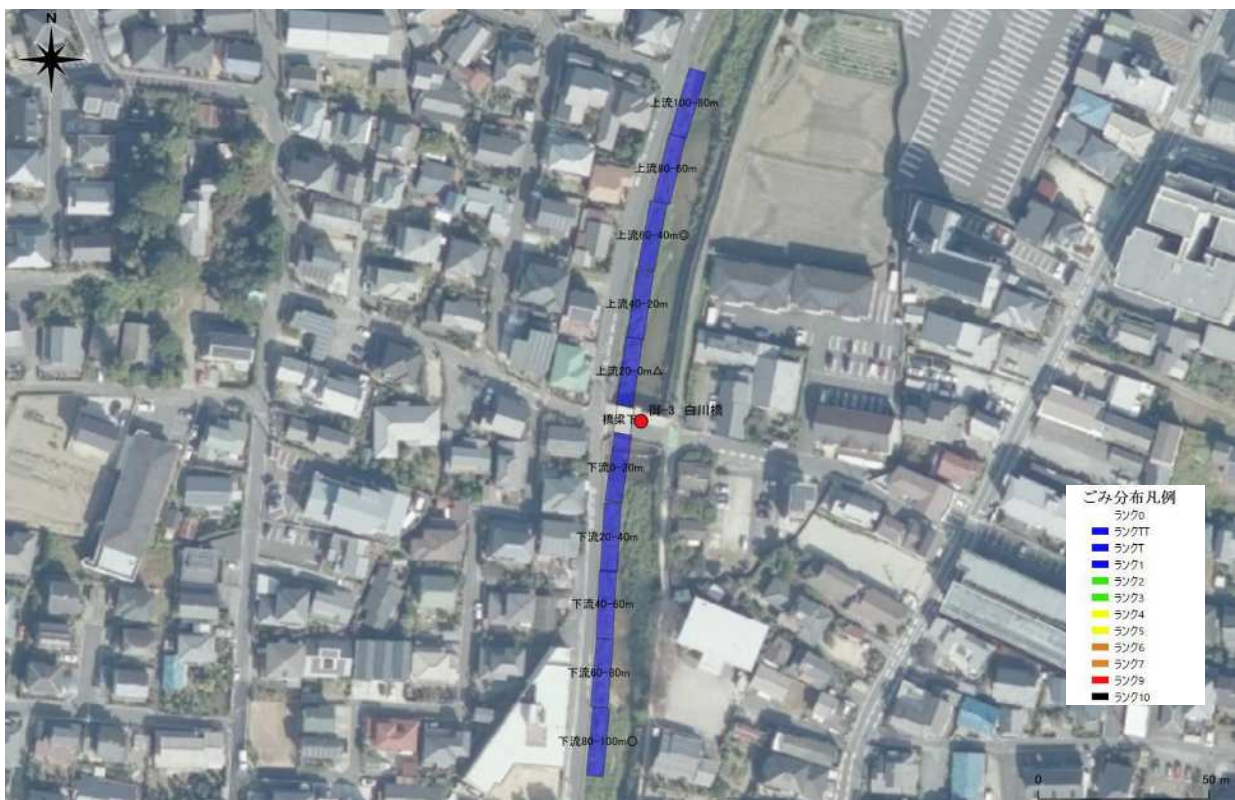
図 4-1-5 調査地点とランク（御笠川：下川原橋周辺）

		
空き缶	ビニール	プラ片
		
クーラーバッグとウレタン	プラカップ	ペットボトル

図 4-1-6 確認された代表的なごみの状況（御笠川：下川原橋周辺）

表 4-1-6 代表地点別ごみ分布状況（御笠川：白川橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
右岸	上流100～80m	10×2	TT	みかんの皮、プラ製容器包装	—
	上流80～60m	10×3	TT	紙製容器包装、マスク、ビニール片	—
	上流60～40m	10×7	1	プラごみ、プラ製容器包装、プラ片、ペットボトル、空き缶	ごみが多い
	上流40～20m	10×6	T	ビニール片、プラ製容器包装、ペットボトル、プラ容器	—
	上流20～0m	10×6	TT	ビニール片、プラ容器、紙片	ごみがほとんどない
	橋梁下	8×1	0	—	—
	下流0～20m	10×1	1	ビニール、ペットボトル、紙片、ゴムボール	—
	下流20～40m	10×4	TT	ビニール、たばこの空き箱	—
	下流40～60m	10×5	TT	プラ製容器包装、紙ごみ	—
	下流60～80m	10×5	T	プラ製容器包装、紙製容器包装、紙パック、空き缶、ペットボトル	—
	下流80～100m	10×5	T	プラ片、ハンガー、プラ製容器包装、空き缶	ごみが少ない



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

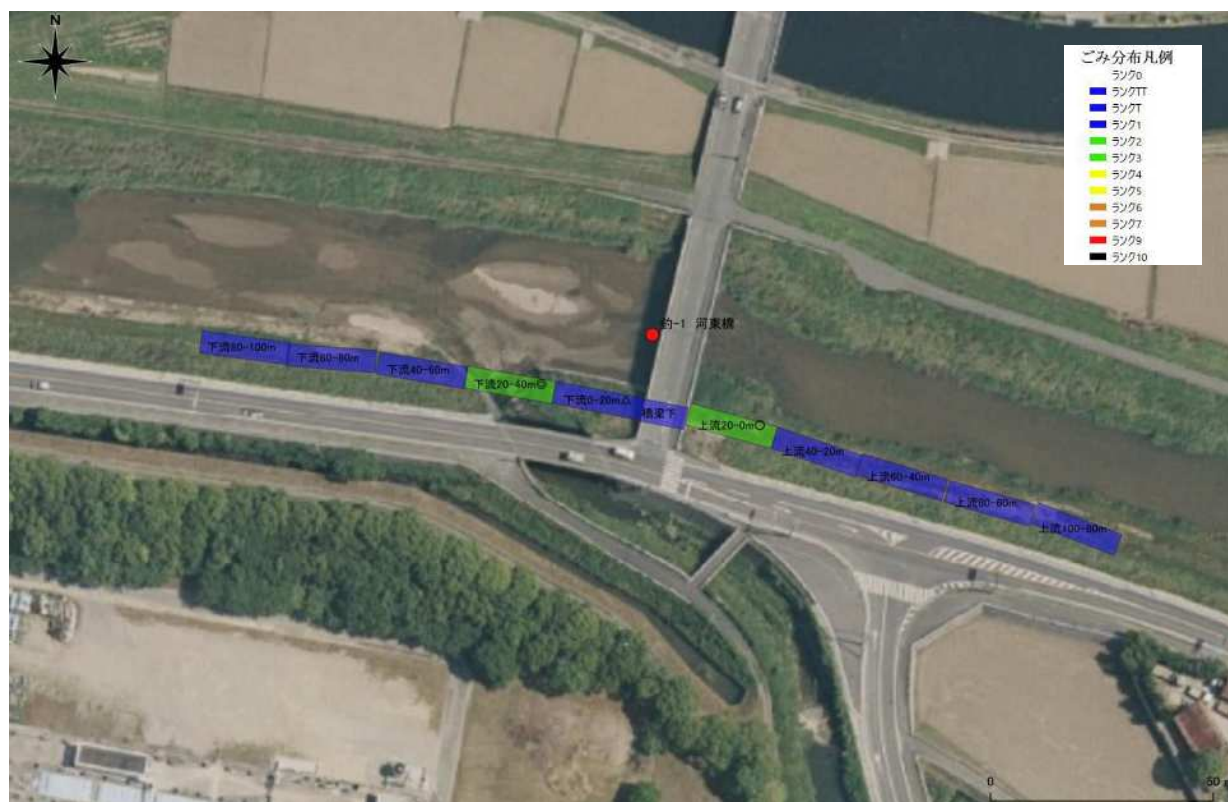
図 4-1-7 調査地点とランク（御笠川：白川橋周辺）

		
プラごみ	ビニール片	ゴムボール
		
プラ製容器包装	空き缶	ハンガー

図 4-1-8 確認された代表的なごみの状況（御笠川：白川橋周辺）

表 4-1-7 代表地点別ごみ分布状況（釣川：河東橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
左岸	上流100～80m	10×15	T	プラ破片、ビニールテープ、木の板	—
	上流80～60m	10×15	TT	空き缶、プラ破片	—
	上流60～40m	10×15	TT	紙コップ、プラ製容器包装	—
	上流40～20m	10×15	TT	プラ製容器包装、ストロー、マスク、たばこの 空き箱	—
	上流20～0m	10×16	2	たばこの空き箱、ペットボトル、プラ製容器包 装、紙コップ	ごみが少ない
	橋梁下	10×15	TT	プラ片、プラ製容器包装、空き缶	—
	下流0～20m	10×15	1	空き缶、針金、木の板、ゴム	ごみがほとんどない
	下流20～40m	10×20	3	ペットボトル、発泡スチロール	ごみが多い
	下流40～60m	10×15	TT	プラ片	—
	下流60～80m	10×22	TT	空き缶、プラ片	—
	下流80～100m	10×22	T	ペットボトル、プラ片、たばこの吸い殻、空き 缶	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-9 調査地点とランク（釣川：河東橋周辺）



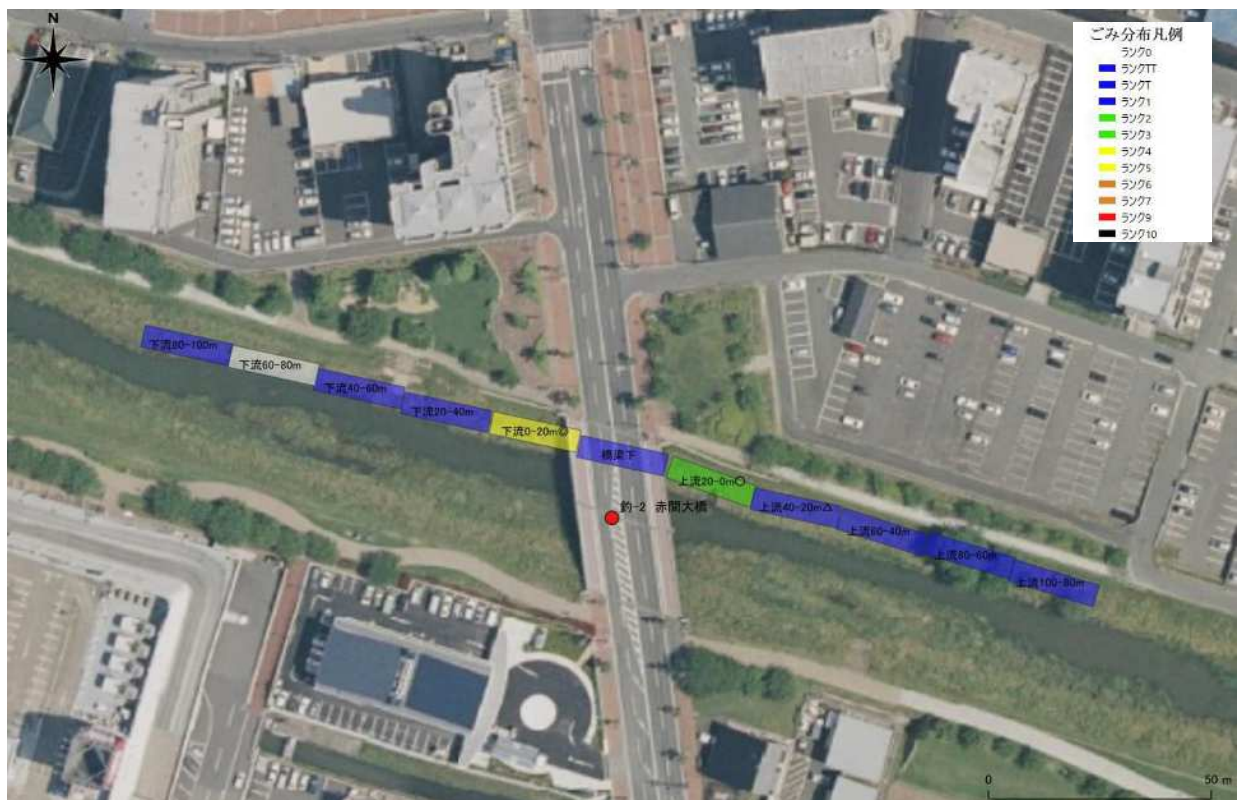
		
プラ片	紙コップ	たばこの空き箱
		
ペットボトルと発泡スチロール	空き缶	

図 4-1-10 確認された代表的なごみの状況（釣川：河東橋周辺）

表 4-1-8 代表地点別ごみ分布状況（釣川：赤間大橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
右岸	上流100～80m	10×6	TT	ネット（植生に絡まっている）	—
	上流80～60m	10×6	TT	プラ製品、プラ製容器包装	—
	上流60～40m	10×6	TT	プラ製容器包装	—
	上流40～20m	10×6	TT	ビニール、プラ製容器包装	ごみがほとんどない
	上流20～0m	10×6	3	ペットボトル、紙製容器包装、プラ製容器包装、空き缶	ごみが少ない
	橋梁下	20×6	1	紙製容器包装、プラ製容器包装、レジ袋、ペットボトル	—
	下流0～20m	10×10	4	ビニール袋、プラ製品、プラ製容器包装、マスク	ごみが多い
	下流20～40m	10×10	TT	ビニール袋、空き缶	—
	下流40～60m	10×10	TT	プラ製容器包装	—
	下流60～80m	10×10	0	—	—
	下流80～100m	10×10	TT	紙くず	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

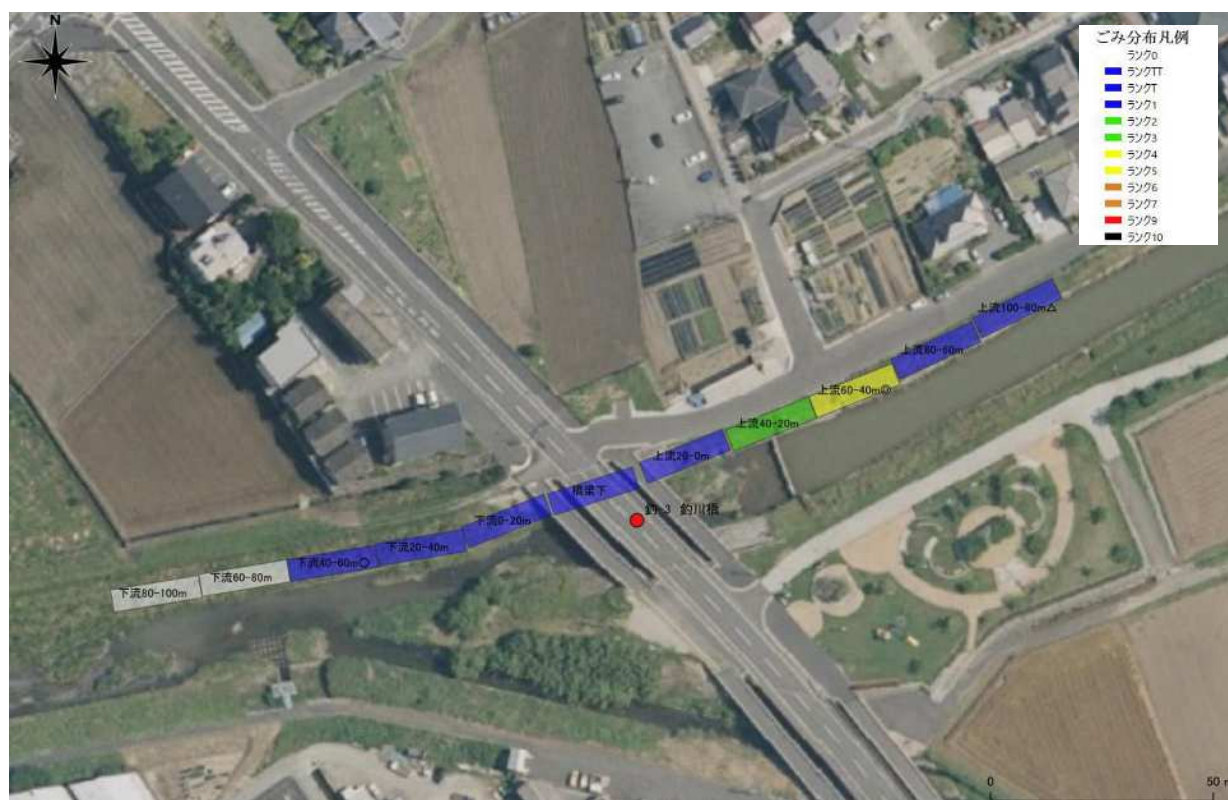
図 4-1-11 調査地点とランク（釣川：赤間大橋周辺）

		
紙くず	空き缶	ビニール
		
プラ製容器包装	プラ製容器包装	ペットボトル等

図 4-1-12 確認された代表的なごみの状況（釣川：赤間大橋周辺）

表 4-1-9 代表地点別ごみ分布状況（釣川：釣川橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
右岸	上流100～80m	10×7	空き缶、たばこの空き箱	ごみがほとんどない	
	上流80～60m	10×7	紙コップ、空き缶	—	
	上流60～40m	10×7	苗木ポット、七輪、プラ製容器包装、ペットボトル	ごみが多い	
	上流40～20m	10×7	紙くず、プラ製容器包装、消火器、空き缶	—	
	上流20～0m	10×7	プラ製容器包装、ライター、紙くず	—	
	橋梁下	10×6	T	ペットボトル（2L）、弁当ガラ、ビニール、マスク	—
	下流0～20m	10×6	TT	プラ製容器包装、プラ片	—
	下流20～40m	10×6	TT	紙くず	—
	下流40～60m	10×6	T	プラ製容器包装、紙ごみ、プリンタ	ごみが少ない
	下流60～80m	10×6	0	—	—
	下流80～100m	10×6	0	—	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-13 調査地点とランク（釣川：釣川橋周辺）






		
空き缶	たばこの空き箱	七輪
		
消火器	苗木ポット	紙コップ

図 4-1-14 確認された代表的なごみの状況（釣川：釣川橋周辺）

表 4-1-10 代表地点別ごみ分布状況（長峡川：古川橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
左岸	上流100～80m	10×12	T	ペットボトル、空き缶、紙製容器包装	—
	上流80～60m	10×12	1	ペットボトル、プラ製容器包装、弁当ガラ	—
	上流60～40m	10×12	TT	ペットボトル	ごみがほとんどない
	上流40～20m	10×12	1	プラ製容器包装、トタン	—
	上流20～0m	10×12	1	紙コップ、プラ片、ビニール片	ごみが少ない
	橋梁下	5×12	0	—	—
	下流0～20m	10×12	TT	空きびん	—
	下流20～40m	10×12	3	ペットボトル、レジ袋、プラ製容器包装	ごみが多い
	下流40～60m	10×18	2	ビニールの破片、ペットボトル	—
	下流60～80m	10×18	4	傘や杖（十数本）、木の板、ペットボトル	—
	下流80～100m	10×18	TT	ビニール袋、空き缶	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-15 調査地点とランク（長峡川：古川橋周辺）

		
ペットボトル	プラ製容器包装	トタン
		/
紙コップ	傘 (十数本)	

図 4-1-16 確認された代表的なごみの状況 (長峽川：古川橋周辺)

表 4-1-11 代表地点別ごみ分布状況（長峡川：稗田橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
左岸	上流100～80m	10×2	ペットボトル、紙くず	—	
	上流80～60m	10×2	たばこの吸い殻、紙くず	—	
	上流60～40m	10×2	たばこの吸い殻、紙くず	—	
	上流40～20m	10×2	プラ製容器包装、紙くず	ごみがほとんどない	
	上流20～0m	10×2	たばこの吸い殻、紙パック	—	
	橋梁下	6×2	T	発泡スチロール片、ビニール片、硬質プラ片	—
	下流0～20m	10×5	TT	紙コップ	
	下流20～40m	10×6	TT	マスク	—
	下流40～60m	10×6	2	中身入りのレジ袋、紙製容器包装、プラ製容器包装	ごみが多い
	下流60～80m	10×6	T	ペットボトル、プラ製容器包装、紙製容器包装、空き缶	—
	下流80～100m	10×6	TT	ペットボトル、たばこの吸い殻、紙製容器包装、空き缶	ごみが少ない



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

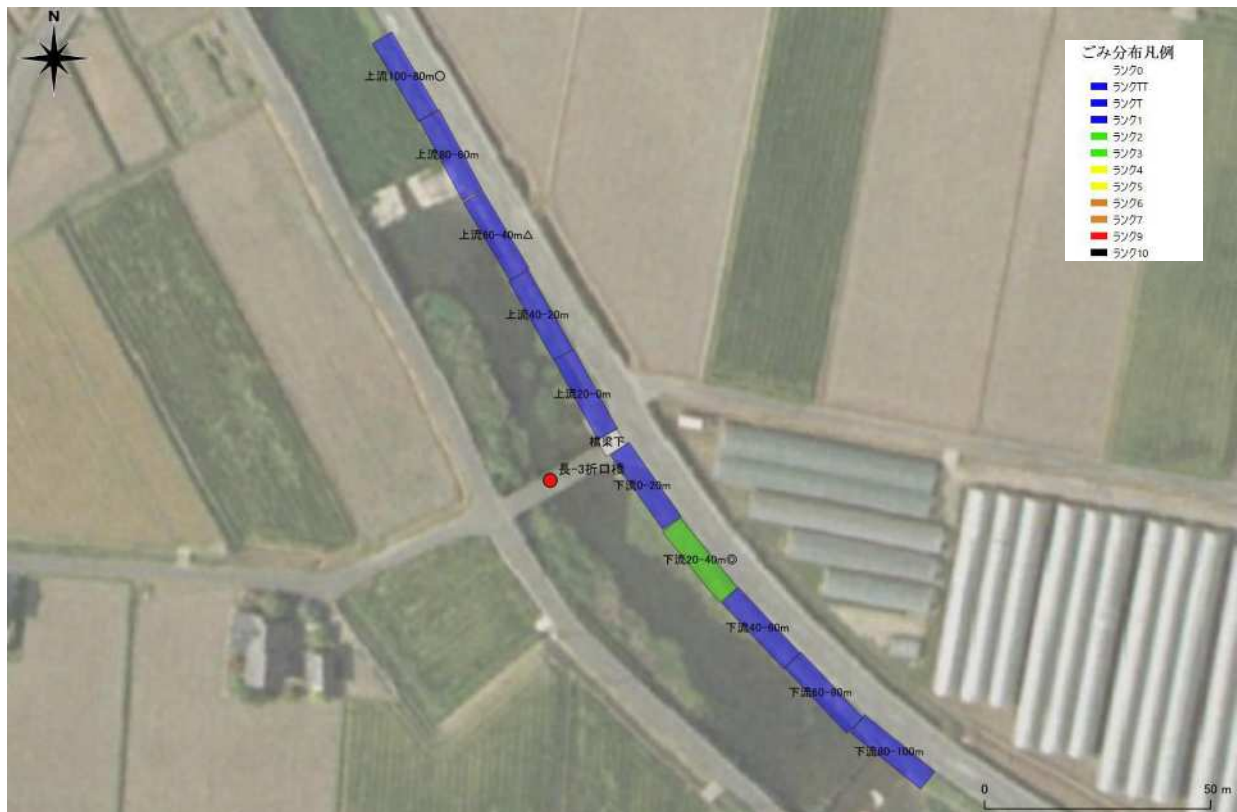
図 4-1-17 調査地点とランク（長峡川：稗田橋周辺）

		
ペットボトル	紙くず	たばこの吸い殻
		
プラ製容器包装	紙パック	マスク

図 4-1-18 確認された代表的なごみの状況（長峡川：稗田橋周辺）

表 4-1-12 代表地点別ごみ分布状況（長峡川：折口橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
左岸	上流100～80m	10×3	T	弁当ガラ、空き缶、紙くず	ごみが少ない
	上流80～60m	10×2	TT	ペットボトル、プラ製容器包装、ビニール袋	—
	上流60～40m	10×2	TT	紙くず、たばこの吸い殻	ごみがほとんどない
	上流40～20m	10×2	TT	たばこの空き箱、マスク、たばこの吸い殻	—
	上流20～0m	10×2	TT	紙くず、たばこの吸い殻	—
	橋梁下	4×1	0	—	—
	下流0～20m	10×5	TT	たばこの空き箱、プラ製容器包装	—
	下流20～40m	10×5	2	たばこの空き箱、プラ製容器包装、中身入りビニール袋	ごみが多い
	下流40～60m	10×4	TT	紙パック、空き缶	—
	下流60～80m	10×4	TT	プラ製容器包装、ペットボトル、紙ごみ、ビン片	—
	下流80～100m	10×4	T	プラ製容器包装、空き缶、たばこの吸い殻	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-19 調査地点とランク（長峡川：折口橋周辺）

		
弁当ガラ	空き缶	たばこの空き箱
		
プラ製容器包装	中身入りのレジ袋	ペットボトル

図 4-1-20 確認された代表的なごみの状況（長峽川：折口橋周辺）

表 4-1-13 代表地点別ごみ分布状況（建花寺川：二瀬橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
左岸	上流100～80m	10×15	3	ペットボトル、紙製容器包装、布片、ガラス片	ごみが少ない
	上流80～60m	10×17	4	プラ製プランター、マスク、紙くず	—
	上流60～40m	10×20	4	中身入りのレジ袋、プラ製容器包装、ペットボトル	—
	上流40～20m	10×18	2	ビニール袋、たばこの空き箱、ペットボトル、プラ製容器包装	ごみがほとんどない
	上流20～0m	10×18	2	ビニール袋の破片、プラ製容器包装	—
	橋梁下	22×19	2	ビニール袋の破片、プラ製容器包装	—
	下流0～20m	10×19	5	ペットボトル、プラ製容器包装、空き缶	—
	下流20～40m	10×19	5	空き缶、ペットボトル、レジ袋、プラ製容器包装	—
	下流40～60m	10×19	6	冷蔵庫、空き缶、ペットボトル、プラ製容器包装	ごみが多い
	下流60～80m	10×19	5	ブラウン管テレビ、空き缶、ペットボトル	—
	下流80～100m	10×19	4	たばこの吸い殻、プラ製容器包装、空き缶、発泡スチロール片	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-21 調査地点とランク（建花寺川：二瀬橋周辺）

		
プラ製プランター	中身入りのレジ袋	プラ製容器包装
		
冷蔵庫	ブラウン管テレビ	空き缶等

図 4-1-22 確認された代表的なごみの状況（建花寺川：二瀬橋周辺）

表 4-1-14 代表地点別ごみ分布状況（建花寺川：伊岐須橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
左岸	上流100～80m	10×7	TT	紙くず	—
	上流80～60m	10×9	TT	紙製容器包装、紙パック	—
	上流60～40m	10×9	1	ペットボトル、プラ製容器包装	—
	上流40～20m	10×9	3	プラ製玩具、中身入りのごみ袋	—
	上流20～0m	10×8	1	プラ製容器包装、マスク、ビニール片	ごみが少ない
	橋梁下	9×10	1	劣化したビニールシート	—
	下流0～20m	10×12	4	プラ製容器包装、空き缶、プラカップ、ペットボトル	ごみが多い
	下流20～40m	10×12	T	空き缶、プラ製容器包装	—
	下流40～60m	10×11	TT	プラ製容器包装	ごみがほとんどない
	下流60～80m	10×9	3	紙製容器包装、空き缶、中身入りレジ袋、ペットボトル	—
	下流80～100m	10×8	1	プラ製容器包装、玩具（ボール）、たばこの吸い殻	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-23 調査地点とランク（建花寺川：伊岐須橋周辺）


		
<p>プラカップ、空き缶等</p>	<p>紙製容器包装</p>	<p>中身入りのごみ袋</p>
		
<p>プラ製容器包装</p>	<p>空き缶</p>	<p>中身入りレジ袋</p>

図 4-1-24 確認された代表的なごみの状況（建花寺川：伊岐須橋周辺）

表 4-1-15 代表地点別ごみ分布状況（建花寺川：立花下橋周辺）

区分		観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所
右岸	上流100～80m	10×5	0	—	—
	上流80～60m	10×5	TT	農業用ビニールシート	ごみが少ない
	上流60～40m	10×5	TT	プラ製品	ごみがほとんどない
	上流40～20m	10×5	0	—	—
	上流20～0m	10×3	0	—	—
左岸	橋梁下	11×4	TT	すだれ	—
	下流0～20m	10×3	4	プラ製容器包装、空き缶、すだれ、中身入りのビニール袋	ごみが多い
	下流20～40m	10×4	0	—	—
	下流40～60m	10×5	TT	プラ製品	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-25 調査地点とランク（建花寺川：立花下橋周辺）





		
農業用ビニールシート	プラ製品	中身入りのレジ袋
		
すだれ等		

図 4-1-26 確認された代表的なごみの状況（建花寺川：立花下橋周辺）

表 4-1-16 代表地点別ごみ分布状況（堂面川：仮屋前橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
右岸	上流100～80m	10×6	TT	空き缶、石灰片	—
	上流80～60m	10×6	TT	プラ製容器包装、紙コップ	ごみがほとんどない
	上流60～40m	10×6	TT	ペットボトル	—
	上流40～20m	10×3	1	塩化ビニル製の棒、紙コップ	ごみが少ない
	上流20～0m	10×3	TT	発泡スチロール片（納豆のふた）	—
	橋梁下	4×5	2	衣類、たばこの吸い殻	—
	下流0～20m	10×8	4	電化製品（加湿器）、ペットボトル、紙製容器包装、プラ製容器包装	ごみが多い
	下流20～40m	10×7	0	—	—
	下流40～60m	10×5	2	剪定枝、動物の骨、乾電池、ビニール袋	—
	下流60～88m	28×5	TT	ビニール片	—
	下流88～108m	10×5	TT	たばこの吸い殻、紙コップ、ビニール袋、木板片	—



図 4-1-27 調査地点とランク（堂面川：仮屋前橋周辺）

		
プラ製容器包装	たばこの吸い殻	剪定枝
		
衣類	発泡スチロール片	電化製品

図 4-1-28 確認された代表的なごみの状況（堂面川：仮屋前橋周辺）

表 4-1-17 代表地点別ごみ分布状況（堂面川：七夕橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
左岸	上流100～80m	10×5	TT	紙コップ	—
	上流80～60m	10×5	TT	プラ製容器包装	—
	上流60～40m	10×6	TT	紙くず	—
	上流40～20m	10×6	T	紙くず、空き缶	—
	上流20～0m	10×5	2	ペットボトル、プラ製容器包装、ビニール袋、弁当ガラ	ごみが多い
	橋梁下	10×4	1	革製のかばん、プラ製容器包装	—
	下流0～20m	10×5	TT	ビニール片	ごみがほとんどない
	下流20～40m	10×5	TT	たばこの吸い殻、ビニール片、飲料用紙パック	—
	下流40～60m	10×5	0	—	—
	下流60～80m	10×5	T	新聞紙、みかんの皮	ごみが少ない
下流80～100m	10×5	TT	ビニール片	—	



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-29 調査地点とランク（堂面川：七夕橋周辺）

		
缶	弁当ガラ、ビニール袋	プラ製容器包装
		
草製のかばん	ビニール片	新聞紙とみかんの皮

図 4-1-30 確認された代表的なごみの状況 (堂面川：七夕橋周辺)

表 4-1-18 代表地点別ごみ分布状況（堂面川：前丁橋周辺）

区分	観察範囲 (m)	ランク	主な組成	選定箇所	
右岸	上流50～40m	10×1	—	—	
	上流40～30m	10×2	プラスチック片	—	
	上流30～20m	10×3	TT	ビニール片、プラスチック片	—
	上流20～10m	10×3	0	—	—
	上流10～0m	10×5	TT	空き缶、木片	ごみがほとんどない
	橋梁下	12×4	0	—	—
	下流0～10m	10×4	2	空き缶（全て同銘柄）	ごみが多い
	下流10～20m	10×6	TT	空き缶	—
	下流20～30m	10×4	TT	プラ製容器包装	—
	下流30～40m	10×3	T	空き缶、空き瓶	ごみが少ない
	下流40～50m	10×3	0	—	—



※◎：ごみが多い箇所、○：ごみが少ない箇所、△：ごみがほとんどない箇所

図 4-1-31 調査地点とランク（堂面川：前丁橋周辺）

		
<p>空き缶、空き瓶</p>	<p>ビニール片</p>	<p>同じ銘柄のビール缶</p>

図 4-1-32 確認された代表的なごみの状況（堂面川：前丁橋周辺）

4-2 河川敷のごみ組成調査

4-2-1 調査方法

(1) 調査方法

前述の表4-1-4～表4-1-18で示した「ごみが多い箇所」、「ごみが少ない箇所」、「ごみがほとんどない箇所」を調査箇所(ごみの回収範囲)とし、その箇所の全体写真の撮影後、散乱ごみを回収した(表4-2-1)。

回収したごみは「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(第2版)」(環境省、令和2年)を参考に、「漂着ごみ組成調査データシート(令和3年10月第3版)」(表4-2-2)に沿って分類し、分類ごとに個数・湿重量・容積の計測を行った(図4-2-1)。

また、関連項目として以下の項目を計測・記録した。

- ◇ 調査箇所の位置座標(各区域の中心座標)
- ◇ 調査箇所の面積(河川敷の奥行き)
- ◇ 回収時刻、終了時刻、回収作業人数
- ◇ 河川敷周辺の利用状況

表4-2-1 ごみの回収箇所

河川	調査地点	ごみが多い		ごみが少ない		ごみがほとんどない	
			ランク		ランク		ランク
御笠川	御-1: 筒井橋	上流20~0m	2	下流20~40m	TT	下流40~60m	TT
	御-2: 下川原橋	下流80~100m	2	上流20~0m	T	上流60~40m	TT
	御-3: 白川橋	上流60~40m	1	下流80~100m	T	上流20~0m	TT
釣川	釣-1: 河東橋	下流20~40m	3	上流20~0m	2	下流0~20m	1
	釣-2: 赤間大橋	下流0~20m	4	上流20~0m	3	上流40~20m	TT
	釣-3: 釣川橋	上流60~40m	4	下流40~60m	T	上流100~80m	TT
長峽川	長-1: 古川橋	下流20~40m	3	上流20~0m	1	上流60~40m	TT
	長-2: 稗田橋	下流40~60m	2	下流80~100m	TT	上流40~20m	TT
	長-3: 折口橋	下流20~40m	2	上流100~80m	T	上流60~40m	TT
建花寺川	建-1: 二瀬橋	下流40~60m	6	上流100~80m	3	上流40~20m	2
	建-2: 伊岐須橋	下流0~20m	4	上流20~0m	1	下流40~60m	TT
	建-3: 立花下橋	下流0~20m	4	上流80~60m	TT	上流60~40m	TT
堂面川	堂-1: 仮屋前橋	下流0~20m	4	上流40~20m	1	上流80~60m	TT
	堂-2: 七夕橋	上流20~0m	2	下流60~80m	T	下流0~20m	TT
	堂-3: 前丁橋	下流0~10m	2	下流30~40m	T	上流10~0m	TT



図4-2-1 分類・計測の様子

表 4-2-2 回収ごみ分類表（データシート）（1/2）

No.	大分類	必須項目	オプション項目	ブラ分類	
1	プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	容器包装	
2		ボトル<1L	飲料用（ペットボトル）<1L	容器包装	
3			その他のプラボトル<1L	容器包装	
4			飲料用（ペットボトル）≥1L	容器包装	
5			その他のプラボトル類≥1L	容器包装	
6			ストロー	ストロー	製品
7		マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品	
8		食品容器（ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類	コップ、食器	容器包装	
9			食品容器	容器包装	
10		ポリ袋（不透明&透明）	食品の容器包装	容器包装	
11			レジ袋	容器包装	
12			レジ袋（内容物入り）	容器包装	
13			農業用袋（肥料袋等）	容器包装	
14			その他プラスチック袋	容器包装	
15		ライター	ライター	製品	
16		シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	製品	
17		テープ	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	製品	
18		シートや袋の破片	シートや袋の破片	製品	
19		硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	製品	
20		ウレタン	ウレタン	製品	
21	浮子（ブイ）（漁具）	浮子（ブイ）（漁具）	漁具		
22	ロープ、ひも、ネット	ロープ、ひも、ネット	製品/漁具		
23	アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	漁具		
24	カキ養殖用まめ管（漁具）	カキ養殖用まめ管（漁具）	漁具		
25	カキ養殖用パイプ（長さ10-20cm）（漁具）	カキ養殖用パイプ（長さ10-20cm）（漁具）	漁具		
26	漁網（漁具）	漁網（漁具）	漁具		
27	その他の漁具	かご漁具	漁具		
28		その他の漁具	漁具		
29	漁具	釣のルアー、浮き、	漁具		
30		釣り糸	漁具		
31		その他の漁具	漁具		
32	たばこ吸殻（フィルター）	たばこ吸殻（フィルター）	製品		
33	生活雑貨（歯ブラシ等）	生活雑貨（歯ブラシ等）	製品		
34	苗木ポット	苗木ポット	製品		
35	その他	花火	製品		
36		玩具	製品		
37		プラスチック梱包材	製品		
38		6バックホルダー	製品		
39		使い捨てマスク	製品		
40		分類に無いもので多数みつかった場合には記載	製品		
41		その他	製品		
42		発泡スチロール	コップ、食品包装等	食品容器（発泡スチロール）	容器包装
43				コップ、食器（発泡スチロール）	容器包装
44			発泡スチロール製フロート、浮子（ブイ）	発泡スチロール製フロート、浮子（ブイ）	製品/漁具
45	発泡スチロールの破片		発泡スチロールの破片	製品/漁具	
46	発泡スチロール製包装材		発泡スチロール製包装材	容器包装	
47	その他		分類に無いもので多数みつかった場合には記載	製品	
48			その他	製品	

表 4-2-2 回収ごみ分類表（データシート）（2/2）

No.	大分類	必須項目	オプション項目	プラ分類
49	ゴム	ゴム	タイヤ	-
50			玩具、ボール	-
51			風船	-
52			靴（サンダル、靴底含む）	-
53			ゴムの破片	-
54			分類に無いもので多数みつかった場合には記載	-
55			その他	-
56			ガラス、陶器	ガラス、陶器
57	食品容器	-		
58	ガラス、陶器の破片	-		
59	食品以外容器	-		
60	コップ、食器	-		
61	電球	-		
62	蛍光管	-		
63	分類に無いもので多数みつかった場合には記載	-		
64	その他	-		
65	金属	金属		
66			アルミの飲料缶	-
67			スチール製飲料用缶	-
68			金属製コップ、食器	-
69			フォーク、ナイフ、スプーン等	-
70			その他の缶（ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等）	-
71			金属片	-
72			ワイヤー、針金	-
73			金属製漁具	-
74			分類に無いもので多数みつかった場合には記載	-
75			その他	-
76	紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	-
77			タバコのパッケージ（フィルム、銀紙を含む）	-
78			花火	-
79			紙袋	-
80			食品包装材	-
81			紙製容器（飲料用紙パック等）	-
82			紙片（ダンボール、新聞紙等を含む）	-
83			分類に無いもので多数みつかった場合には記載	-
84			その他	-
85	天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	-
86			分類に無いもので多数みつかった場合には記載	-
87			その他	-
88	木（木材等）	木（木材等）	木材（物流用パレット、木炭等含む）	-
89			分類に無いもので多数みつかった場合には記載	-
90			その他	-
91	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	-
92			分類に無いもので多数みつかった場合には記載	-
93			その他	-
94	自然物	自然物	灌木（植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満）	-
95			流木（径10cm以上、長さ1m以上）	-
96			分類に無いもので多数みつかった場合には記載	-
97			その他	-
98	人力で動かせないもの			-

(2) 調査地点

調査地点は、5河川各3地点とした（流下ごみ調査と同地点）。

各河川の調査範囲は「①河川敷のごみ量の調査」の河川敷の調査範囲と同様、原則として橋梁を中心とした片岸約200mの範囲（上流側・下流側各100m）とした（図4-2-2参照）。

その中から、「①河川敷のごみ量の調査」で選定した調査箇所（「ごみが多い区域」、「ごみが少ない区域」、「ごみがほとんどない区域」）で、河川延長方向10mの帯状の区域内のごみを回収した（図4-2-2参照）。

※5 「ごみが多い区域」、「ごみが少ない区域」、「ごみがほとんどない区域」の区切りについては、各調査範囲内の相対的な散乱ごみの量で区切ることにした。

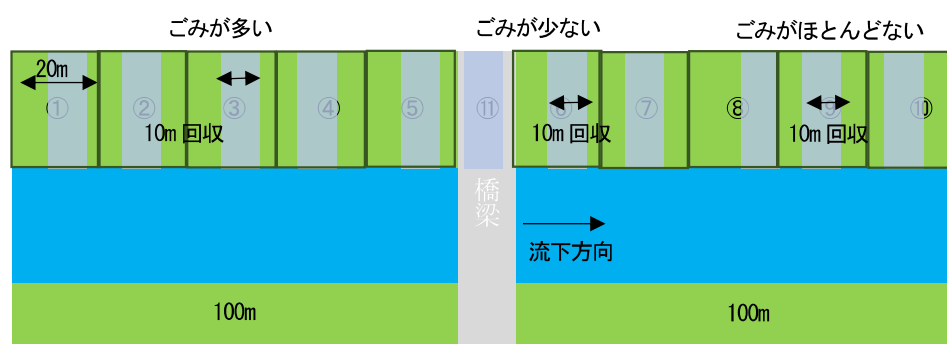


図4-2-2 ごみの回収箇所のイメージ

(3) 調査日

調査日は、表4-2-3に示すとおりである。

調査回数は各地点1回とし、いずれも河川を流下するごみの調査期間中に実施した。

表4-2-3 各河川の調査日

河川	ごみの回収	組成調査
御笠川	令和6年2月15日	令和6年2月16日
釣川	令和6年2月26日	令和6年2月27日
長峡川	令和6年2月12日	令和6年2月14日
建花寺川	令和6年2月9日	令和6年2月13日
堂面川	令和6年1月29日 (前丁橋のみ1月30日)	令和6年2月1日

(4) その他

- ◇ 人力での回収が困難な大型のごみについては回収せず、ごみの寸法と写真を記録した。
- ◇ 個数の把握が難しい項目（自然物、プラスチックや袋等の破片物等）は個数の計測は行わず、湿重量と容積のみを記録した。
- ◇ 回収したごみは、分類表の大分類ごとに写真を記録した。
- ◇ 飲料容器等で賞味期限が判断可能な場合には記録した。

4-2-2 調査結果

(1) ごみ回収時の状況

各調査地点におけるごみ回収前後の状況は、図4-2-4～図4-2-18に示すとおりである。

※各写真は、図4-2-3の場所（天端部等）から撮影している。



図4-2-3 写真撮影位置

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図4-2-4 ごみ回収前後の状況（御笠川 筒井橋）

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-5 ごみ回収前後の状況（御笠川 下川原橋）





	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-6 ごみ回収前後の状況（御笠川 白川橋）

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-7 ごみ回収前後の状況（釣川 河東橋）

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-8 ごみ回収前後の状況（釣川 赤間大橋）



	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-9 ごみ回収前後の状況（釣川 釣川橋）

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-10 ごみ回収前後の状況（長峡川 古川橋）







	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-11 ごみ回収前後の状況（長峡川 稗田橋）






	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-12 ごみ回収前後の状況（長峡川 折口橋）

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-13 ごみ回収前後の状況（建花寺川 二瀬橋）

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-14 ごみ回収前後の状況 (建花寺川 伊岐須橋)

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-15 ごみ回収前後の状況 (建花寺川 立花下橋)

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-16 ごみ回収前後の状況（堂面川 仮屋前橋）

	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図4-2-17 ごみ回収前後の状況（堂面川 七夕橋）



	回収前	回収後
ごみが多い箇所		
ごみが少ない箇所		
ごみがほとんどない箇所		

図 4-2-18 ごみ回収前後の状況（堂面川 前丁橋）

(2) 調査結果

①組成調査結果

調査河川ごとの結果を表4-2-4に示す。

回収物の組成別の個数は表4-2-5及び図4-2-19、湿重量は表4-2-6及び図4-2-20、容積は表4-2-7及び図4-2-21に示すとおりである。また、人工物の大分類割合は湿重量比が図4-2-22、容積比が図4-2-23に示すとおりである。なお、回収物の詳細データ（河川敷のごみ組成調査結果個票）は、資料-5（河川敷ごみの組成調査結果個票）に示すとおりである。

表4-2-4 調査河川別の結果（組成）

御笠川	<ul style="list-style-type: none"> ・個数をみると、いずれの地点もプラスチック類が多い（表4-2-5）。 ・「ごみが多い箇所」をみると、プラスチックと発泡スチロール（プラスチック類）の割合が、重量では8割以上、容積では7割以上を占めている（図4-2-20、図4-2-21）。
釣川	<ul style="list-style-type: none"> ・個数をみると、プラスチック類が多い。また、赤間大橋では、「ごみが少ない箇所」の個数が多くなっている。これは、容積の小さなごみが多数散乱していたことによる（表4-2-5）。 ・「ごみが多い箇所」の重量と容積は、河東橋と赤間大橋ではプラスチック類が7割以上を占めていた。一方、釣川橋では、ガラス、陶器の占める割合が高い。これは、調査箇所に陶器製の七輪が1個捨てられていたことが影響している（図4-2-20、図4-2-21）。
長峡川	<ul style="list-style-type: none"> ・個数をみると、いずれの地点もプラスチック類が多い（表4-2-5）。 ・「ごみが多い箇所」をみると、プラスチックと発泡スチロール（プラスチック類）の割合が、重量と容積ともに8割以上を占めている（図4-2-20、図4-2-21）。
建花寺川	<ul style="list-style-type: none"> ・個数をみると、プラスチック類が多い。なお、全ての地点を通して、二瀬橋が最も個数が多い（表4-2-5）。 ・「ごみが多い箇所」の重量及び容積をみると、二瀬橋で電化製品、電子機器の割合が高くなっている。これは、冷蔵庫が不法投棄（1台）されていたことによる影響である。その他の地点では、概ね5割をプラスチック類が占めている（図4-2-20、図4-2-21）。 ・伊岐須橋では、調査地点近傍の小売店（コンビニエンスストア）由来と思われるプラカップ等が散見された。
堂面川	<ul style="list-style-type: none"> ・個数をみると、プラスチック類が多い（表4-2-5）。 ・「ごみが多い箇所」の重量及び容積をみると、仮屋前橋で電化製品、電子機器の割合が高くなっている。これは、加湿器が不法投棄（1台）されていたことによる影響である。七夕橋ではいずれもプラスチック類が8割を占めていた。前丁橋では、金属の容積割合が高い。これは、同じ銘柄の空き缶が複数本投棄されていた影響である（図4-2-20、図4-2-21）。

- ✓ ごみの個数が最も多い地点は、建花寺川の二瀬橋である。
- ✓ ほとんどの地点で、プラスチック及び発泡スチロールといったプラスチック類が多くみられた。
- ✓ 各調査地点の「ごみが多い箇所」をみると、釣川の釣川橋、建花寺川の二瀬橋、堂面川の仮屋前橋以外では、プラスチック類の割合が重量、容積ともに高い。この3地点では、電化製品や陶器類が不法投棄されており、それが割合に影響している。

①個数

回収物の組成別の個数は表 4-2-5 及び図 4-2-19 に示すとおりである。

自然物を除いた個数は、下記のとおりである。

- ・御笠川は、「御-1：筒井橋」で 6~68 個、「御-2：下川原橋」で 9~76 個、「御-3：白川橋」で 29~89 個である。
- ・釣川は、「釣-1：河東橋」で 11~39 個、「釣-2：赤間大橋」で 6~143 個、「釣-3：釣川橋」で 8~56 個である。
- ・長峽川は、「長-1：古川橋」で 9~50 個、「長-2：稗田橋」で 1~23 個、「長-3：折口橋」で 14~36 個である。
- ・建花寺川は、「建-1：二瀬橋」で 59~363 個、「建-2：伊岐須橋」で 10~231 個、「建-3：立花下橋」は 2~33 個である。
- ・堂面川は、「堂-1：仮屋前橋」で 19~70 個、「堂-2：七夕橋」で 1~25 個、「堂-3：前丁橋」で 4~20 個である。

表 4-2-5 回収物の組成別個数 (1/2)

単位：個

調査河川		御笠川								
調査地点		御-1:筒井橋			御-2:下川原橋			御-3:白川橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		2月15日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		木	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	50	17	2	61	21	8	82	25	26
	発泡スチロール	5	0	0	10	0	0	4	0	2
	ゴム	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ガラス、陶器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属	0	0	0	1	10	0	3	1	0
	紙、ダンボール	11	1	3	3	0	0	0	1	3
	天然繊維、革	0	1	1	1	1	1	0	2	0
	木（木材等）	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	68	19	6	76	32	9	89	29	31
自然物		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		68	19	6	76	32	9	89	29	31

単位：個

調査河川		釣川								
調査地点		釣-1:河東橋			釣-2:赤間大橋			釣-3:釣川橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		2月26日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	16	28	5	18	86	5	49	5	12
	発泡スチロール	15	0	0	2	0	1	0	2	0
	ゴム	3	0	0	0	1	0	0	0	0
	ガラス、陶器	0	1	0	0	0	0	2	1	1
	金属	4	1	4	2	17	0	5	0	3
	紙、ダンボール	0	4	1	8	33	0	0	0	1
	天然繊維、革	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	木（木材等）	1	0	1	4	5	0	0	0	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	39	34	11	34	143	6	56	8	17
自然物		0	0	0	3	0	0	0	0	0
合計		39	34	11	37	143	6	56	8	17

単位：個

調査河川		長峽川								
調査地点		長-1:古川橋			長-2:稗田橋			長-3:折口橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		2月12日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	43	18	7	21	8	1	30	20	10
	発泡スチロール	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ガラス、陶器	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属	4	0	2	0	1	0	1	2	0
	紙、ダンボール	1	7	0	1	1	0	3	7	3
	天然繊維、革	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木（木材等）	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	50	25	9	23	10	1	36	30	14
自然物		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		50	25	9	23	10	1	36	30	14

表 4-2-4 回収物の組成別個数 (2/2)

単位：個

調査河川		建花寺川								
調査地点		建-1:二瀬橋			建-2:伊岐須橋			建-3:立花下橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	262	54	41	187	13	6	20	3	2
	発泡スチロール	17	2	0	6	6	1	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	ガラス、陶器	22	3	2	1	0	0	1	0	0
	金属	56	5	4	21	4	2	7	0	0
	紙、ダンボール	4	3	12	13	4	1	3	0	0
	天然繊維、革	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	木（木材等）	0	0	0	3	0	0	1	0	0
	電化製品、電子機器	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	363	67	59	231	28	10	33	3
自然物		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		363	67	59	231	28	10	33	3	2

単位：個

調査河川		堂面川								
調査地点		堂-1:仮屋前橋			堂-2:七夕橋			堂-3:前丁橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	31	51	15	19	0	1	3	1	3
	発泡スチロール	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	ガラス、陶器	4	11	0	1	0	0	0	1	0
	金属	3	7	0	1	0	1	16	2	1
	紙、ダンボール	3	0	4	4	1	1	1	0	0
	天然繊維、革	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	木（木材等）	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	電化製品、電子機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	43	70	19	25	1	3	20	4
自然物		0	0	0	0	18	0	0	0	0
合計		43	70	19	25	19	3	20	4	7

注：1.自然物は、個数の把握が困難であるため、湿重量と容積のみを記録した。

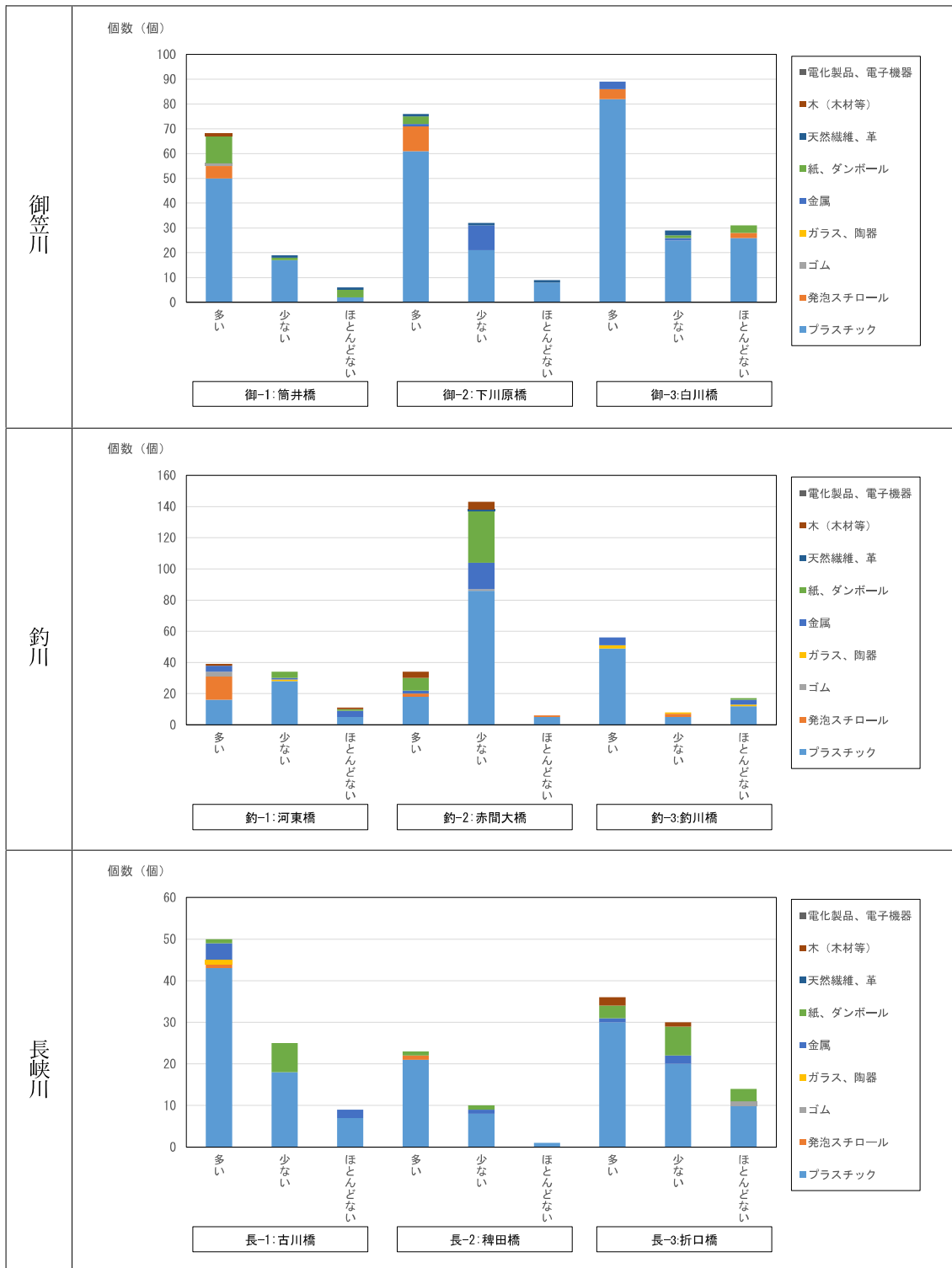


図 4-2-19 回収物の組成別個数(1/2)

※自然物を除く

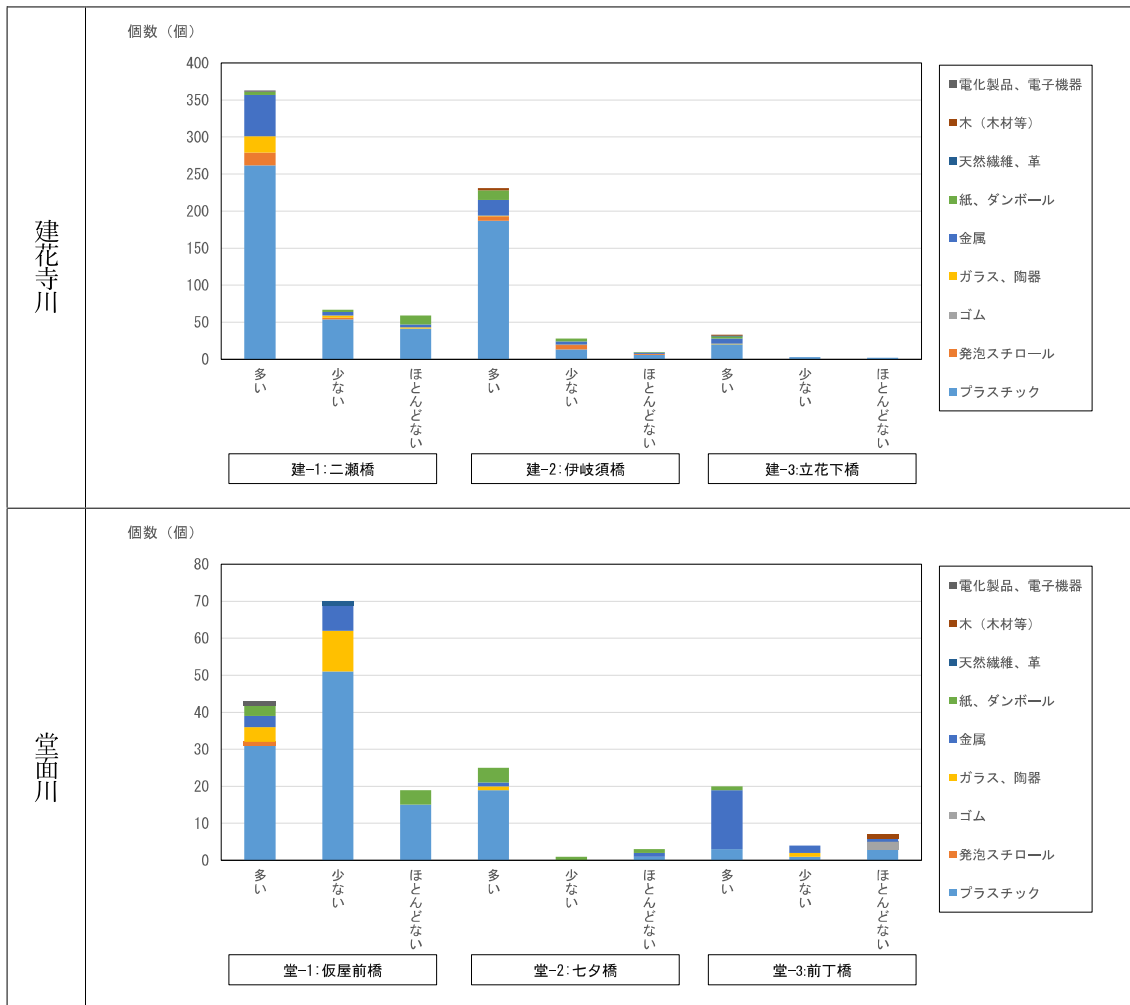


図 4-2-19 回収物の組成別個数 (2/2)

※自然物を除く

②湿重量

回収物の組成別の湿重量は表 4-2-6 及び図 4-2-20 に示すとおりである。

各地点の自然物を除いた湿重量は、下記のとおりである。

- ・御笠川は、「御-1：筒井橋」で 0.012～2.115kg、「御-2：下川原橋」で 0.053～0.501kg、「御-3：白川橋」で 0.115～0.58kg である。
- ・釣川は、「釣-1：河東橋」で 0.24～1.367kg、「釣-2：赤間大橋」で 0.067～1.461kg、「釣-3：釣川橋」で 0.098～7.832kg である。
- ・長峡川は、「長-1：古川橋」で 0.163～0.373kg、「長-2：稗田橋」で 0.003～0.281kg、「長-3：折口橋」で 0.017～0.414kg である。
- ・建花寺川は、「建-1：二瀬橋」で 0.513～34.594kg、「建-2：伊岐須橋」で 0.302～1.48kg、「建-3：立花下橋」は 0.007～1.602kg である。
- ・堂面川は、「堂-1：仮屋前橋」で 0.051～7.279kg、「堂-2：七夕橋」で 0.005～0.317kg、「堂-3：前丁橋」で 0.106～0.592kg である。

表 4-2-6 回収物の組成別湿重量(1/2)

単位 : kg

調査河川		御笠川								
調査地点		御-1:筒井橋			御-2:下川原橋			御-3:白川橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	1.729	0.08	0.004	0.4	0.373	0.045	0.545	0.241	0.084
	発泡スチロール	0.073	0	0	0.032	0	0	0.003	0	0.002
	ゴム	0.128	0	0	0	0	0	0	0	0
	ガラス、陶器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属	0	0	0	0.032	0.093	0	0.032	0.018	0
	紙、ダンボール	0.182	0.001	0.007	0.004	0	0	0	0.001	0.029
	天然繊維、革	0	0.008	0.001	0.002	0.035	0.008	0	0.075	0
	木(木材等)	0.003	0	0	0	0	0	0	0	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2.115	0.089	0.012	0.47	0.501	0.053	0.58	0.335	0.115
自然物		0.006	0.002	0	0.211	0.008	0.136	0.019	0.007	0
合計		2.121	0.091	0.012	0.681	0.509	0.189	0.599	0.342	0.115

単位 : kg

調査河川		釣川								
調査地点		釣-1:河東橋			釣-2:赤間大橋			釣-3:釣川橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	0.988	0.192	0.026	0.636	0.678	0.056	0.405	0.035	0.019
	発泡スチロール	0.135	0	0	0.008	0	0.011	0	0.002	0
	ゴム	0.147	0	0	0	0.128	0	0	0	0
	ガラス、陶器	0	0.037	0	0	0	0	7.333	0.234	0
	金属	0.092	0.002	0.05	0.037	0.288	0	0.094	0	0.069
	紙、ダンボール	0	0.05	0.009	0.031	0.337	0	0	0	0.01
	天然繊維、革	0	0	0	0	0.028	0	0	0	0
	木(木材等)	0.005	0	0.155	0.004	0.002	0	0	0	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1.367	0.281	0.24	0.716	1.461	0.067	7.832	0.271	0.098
自然物		0.002	0.001	0.014	0.017	0.033	0	0.03	0	0.001
合計		1.369	0.282	0.254	0.733	1.494	0.067	7.862	0.271	0.099

単位 : kg

調査河川		長峽川								
調査地点		長-1:古川橋			長-2:稗田橋			長-3:折口橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	0.192	0.154	0.092	0.269	0.026	0.003	0.397	0.094	0.006
	発泡スチロール	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0.001
	ガラス、陶器	0.115	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属	0.05	0	0.071	0	0.017	0	0.001	0.048	0
	紙、ダンボール	0.016	0.064	0	0.012	0.006	0	0.009	0.058	0.01
	天然繊維、革	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木(木材等)	0	0	0	0	0	0	0.007	0.062	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0.373	0.218	0.163	0.281	0.049	0.003	0.414	0.262	0.017
自然物		0.076	0.011	0.002	0.036	0	0	0	0.003	0.003
合計		0.449	0.229	0.165	0.317	0.049	0.003	0.414	0.265	0.02

表 4-2-5 回収物の組成別湿重量 (2/2)

単位 : kg

調査河川		建花寺川								
調査地点		建-1:二瀬橋			建-2:伊岐須橋			建-3:立花下橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	3.76	0.856	0.27	0.62	0.071	0.067	0.895	0.009	0.007
	発泡スチロール	0.23	0.024	0	0.081	0.006	0.002	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	0.138	0	0	0	0
	ガラス、陶器	5.12	0.157	0.049	0.081	0	0	0.049	0	0
	金属	2.12	0.103	0.093	0.518	0.08	0.225	0.234	0	0
	紙、ダンボール	0.006	0.008	0.101	0.17	0.023	0.008	0.139	0	0
	天然繊維、革	0	0	0	0	0	0	0.032	0	0
	木(木材等)	0	0	0	0.01	0	0	0.253	0	0
	電化製品、電子機器	23.358	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		34.594	1.148	0.513	1.48	0.318	0.302	1.602	0.009	0.007
自然物		0.22	0.015	0.005	0.041	0.004	0	0.008	0	0
合計		34.814	1.163	0.518	1.521	0.322	0.302	1.61	0.009	0.007

単位 : kg

調査河川		堂面川								
調査地点		堂-1:仮屋前橋			堂-2:七夕橋			堂-3:前丁橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	0.612	1.397	0.045	0.155	0	0	0.292	0	0.003
	発泡スチロール	0.001	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012
	ガラス、陶器	0.723	0.788	0	0.105	0	0	0	0.238	0
	金属	0.783	0.811	0	0.01	0	0.001	0.298	0.042	0.023
	紙、ダンボール	0.06	0	0.006	0.047	0.022	0.004	0.002	0	0
	天然繊維、革	0	0.086	0	0	0	0	0	0	0
	木(木材等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.068
	電化製品、電子機器	5.1	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		7.279	3.082	0.051	0.317	0.022	0.005	0.592	0.28	0.106
自然物		0.38	0.191	1.193	0.006	0.23	0.002	0.001	0.051	0.001
合計		7.659	3.273	1.244	0.323	0.252	0.007	0.593	0.331	0.107

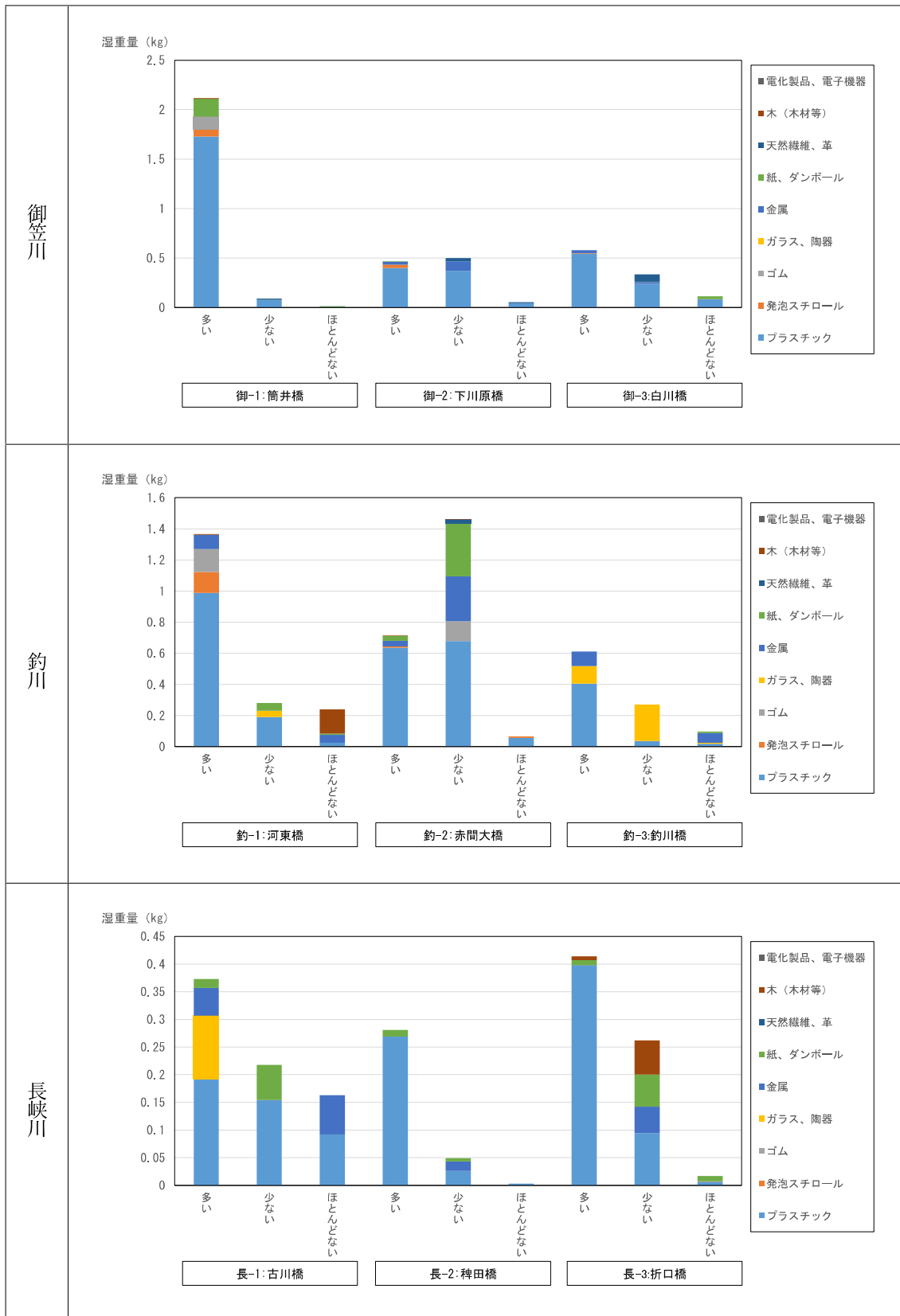


図 4-2-20 回収物の組成別湿重量（自然物を含まない）(1/2)

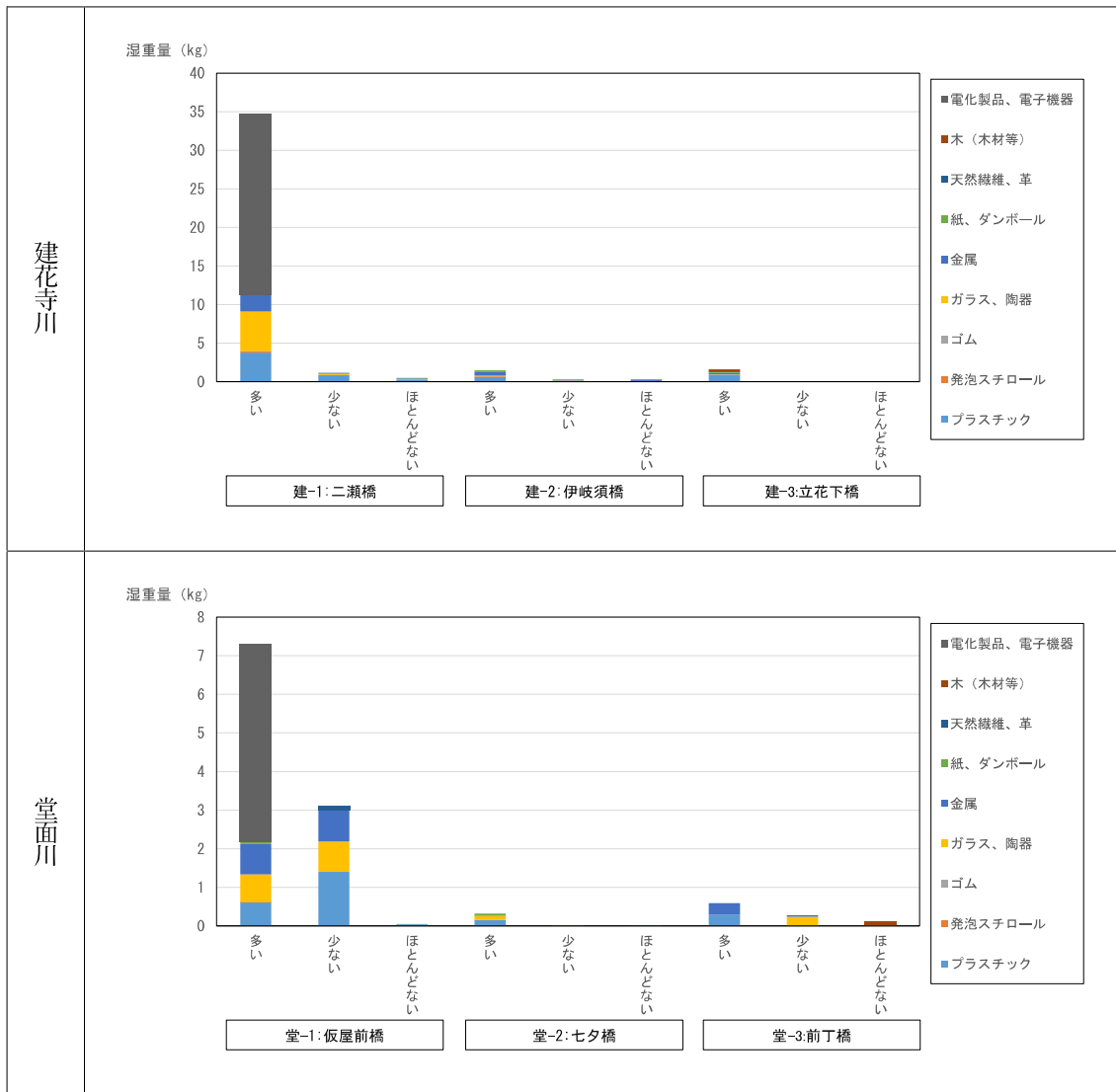


図 4-2-20 回収物の組成別湿重量（自然物を含まない）(2/2)

③容積

回収物の組成別の容積は表 4-2-7 及び図 4-2-21 に示すとおりである。

各地点の自然物を除いた容積は、下記のとおりである。

- ・御笠川は、「御-1：筒井橋」で 0.11～24.205L、「御-2：下川原橋」で 1.67～17.33L、「御-3：白川橋」で 2.26～9.26L である。
- ・釣川は、「釣-1：河東橋」で 0.8～25.78L、「釣-2：赤間大橋」で 1.9～19.44L、「釣-3：釣川橋」で 0.8～10.17L である。
- ・長峡川は、「長-1：古川橋」で 2.01～10.82L、「長-2：稗田橋」で 0.1～6.215L、「長-3：折口橋」で 0.213～8.47L である。
- ・建花寺川は、「建-1：二瀬橋」で 5.655～313.34L、「建-2：伊岐須橋」で 1.73～28.93L、「建-3：立花下橋」は 0.03～18.66L である。
- ・堂面川は、「堂-1：仮屋前橋」で 1.15～29.92L、「堂-2：七夕橋」で 0.065～5.485L、「堂-3：前丁橋」で 0.465～6.975L である。

表 4-2-7 回収物の組成別容積(1/2)

単位：L

調査河川		御笠川								
調査地点		御-1:筒井橋			御-2:下川原橋			御-3:白川橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	17.535	3.652	0.07	13.52	5.76	1.57	8.68	4.5	1.5
	発泡スチロール	3	0	0	3.5	0	0	0.1	0	0.06
	ゴム	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
	ガラス、陶器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属	0	0	0	0.25	2	0	0.48	0.5	0
	紙、ダンボール	3.45	0.02	0.03	0.03	0	0	0	0.01	0.7
	天然繊維、革	0	0.1	0.01	0.03	1	0.1	0	0.4	0
	木（木材等）	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	24.205	3.772	0.11	17.33	8.76	1.67	9.26	5.41	2.26
自然物		0.05	0.02	0	2	0.05	1.5	0.3	0.05	0.01
合計		24.255	3.792	0.11	19.33	8.81	3.17	9.56	5.46	2.27

単位：L

調査河川		釣川								
調査地点		釣-1:河東橋			釣-2:赤間大橋			釣-3:釣川橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	11.525	3.19	0.17	18.56	7.83	1.7	4.67	0.45	0.57
	発泡スチロール	12.1	0	0	0.5	0	0.2	0	0.05	0
	ゴム	0.535	0	0	0	0.5	0	0	0	0
	ガラス、陶器	0	0.02	0	0	0	0	4.7	0.3	0
	金属	1.6	0.01	0.28	0.22	2.2	0	0.8	0	0.81
	紙、ダンボール	0	0.65	0.05	0.14	3.5	0	0	0	0.05
	天然繊維、革	0	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	木（木材等）	0.02	0	0.3	0.02	0.01	0	0	0	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	25.78	3.87	0.8	19.44	14.24	1.9	10.17	0.8	1.43
自然物		0.005	0.01	0.05	0.105	0.3	0	0.2	0	0.01
合計		25.785	3.88	0.85	19.545	14.54	1.9	10.37	0.8	1.44

単位：L

調査河川		長峽川								
調査地点		長-1:古川橋			長-2:稗田橋			長-3:折口橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	7.52	8.82	1.61	6.01	0.57	0.1	8.305	3.158	0.09
	発泡スチロール	0.01	0	0	0.005	0	0	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0.02
	ガラス、陶器	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属	0.711	0	0.4	0	0.35	0	0.015	0.25	0
	紙、ダンボール	0.1	2	0	0.2	0.1	0	0.12	0.65	0.103
	天然繊維、革	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木（木材等）	0	0	0	0	0	0	0.03	0.15	0
	電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	8.441	10.82	2.01	6.215	1.02	0.1	8.47	4.208	0.213
自然物		3	0.05	0.01	1	0	0	0	0.03	0.05
合計		11.441	10.87	2.02	7.215	1.02	0.1	8.47	4.238	0.263

表 4-2-6 回収物の組成別容積(2/2)

単位：L

調査河川		建花寺川								
調査地点		建-1:二瀬橋			建-2:伊岐須橋			建-3:立花下橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	95.3	22.02	2.55	10.73	1.91	0.78	7.01	2	0.03
	発泡スチロール	15	0.5	0	1.7	0.7	0.05	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	0.3	0	0	0	0
	ガラス、陶器	20.6	0.15	0.1	0.05	0	0	0.05	0	0
	金属	24	0.91	0.605	15.2	1.4	0.7	1.5	0	0
	紙、ダンボール	0.1	0.5	2.4	1.2	0.15	0.2	2.05	0	0
	天然繊維、革	0	0	0	0	0	0	0.05	0	0
	木（木材等）	0	0	0	0.05	0	0	8	0	0
	電化製品、電子機器	158.34	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		313.34	24.08	5.655	28.93	4.46	1.73	18.66	2	0.03
自然物		3	0.1	0.1	0.03	0.05	0.005	0.03	0	0.01
合計		316.34	24.18	5.755	28.96	4.51	1.735	18.69	2	0.04

単位：L

調査河川		堂面川								
調査地点		堂-1:仮屋前橋			堂-2:七夕橋			堂-3:前丁橋		
ごみの量		多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない	多い	少ない	ほとんど ない
回収日		1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月29日	1月30日	1月30日	1月30日
回収曜日		月	月	月	月	月	月	火	火	火
人工物	プラスチック	8.93	9.905	0.95	4.5	0	0.05	0.405	0.005	0.055
	発泡スチロール	0.05	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0.05
	ガラス、陶器	0.75	1.5	0	0.1	0	0	0	0.25	0
	金属	0.8	4.96	0	0.185	0	0.005	6.52	1	0.26
	紙、ダンボール	0.01	0	0.2	0.7	1.2	0.01	0.05	0	0
	天然繊維、革	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0
	木（木材等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	電化製品、電子機器	19.38	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		29.92	16.565	1.15	5.485	1.2	0.065	6.975	1.255	0.465
自然物		10	0.2	6	1	1.5	0.005	0.005	3	0.005
合計		39.92	16.765	7.15	6.485	2.7	0.07	6.98	4.255	0.47

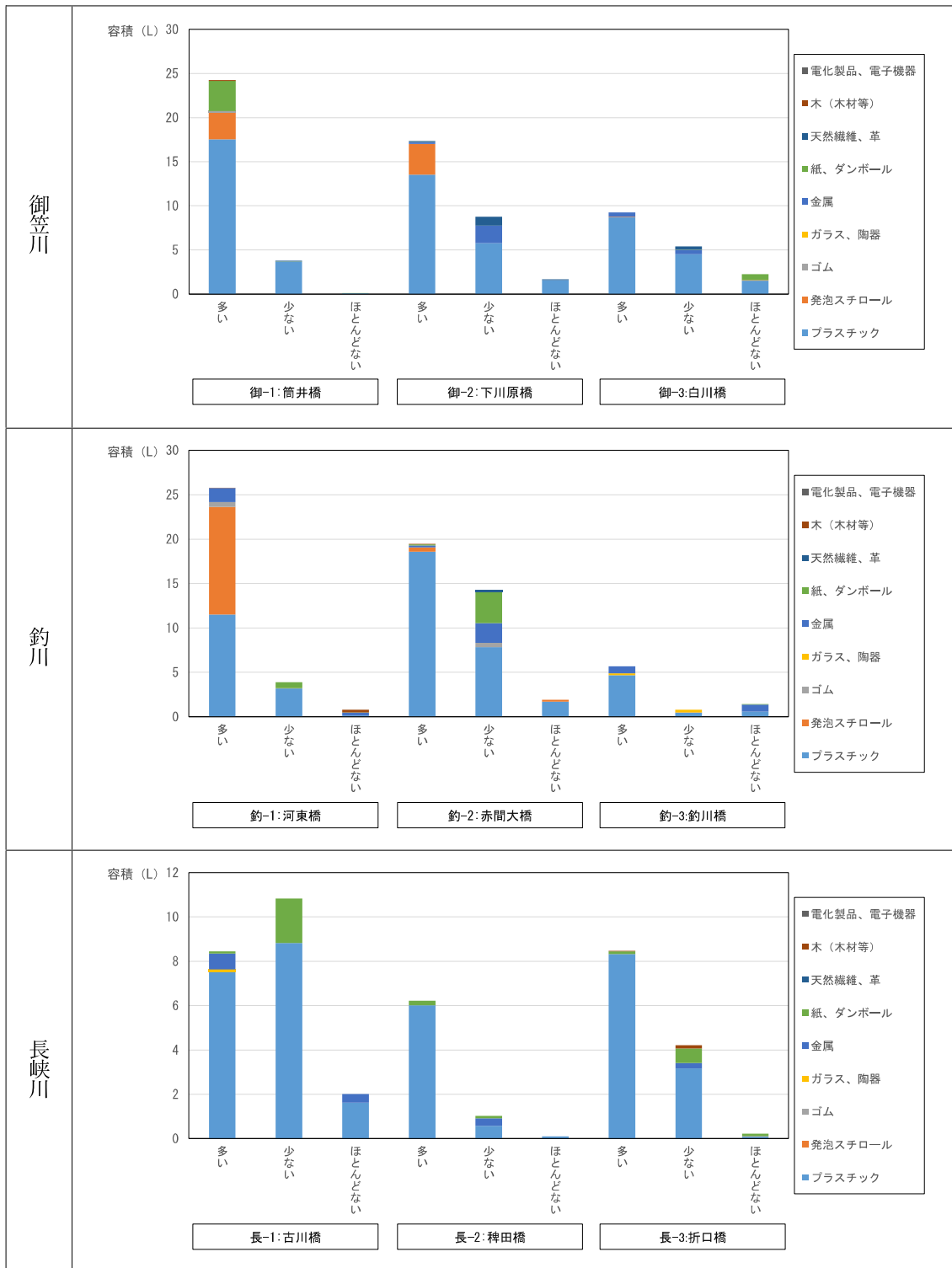


図 4-2-21 回収物の組成別容積（自然物を含まない）(1/2)

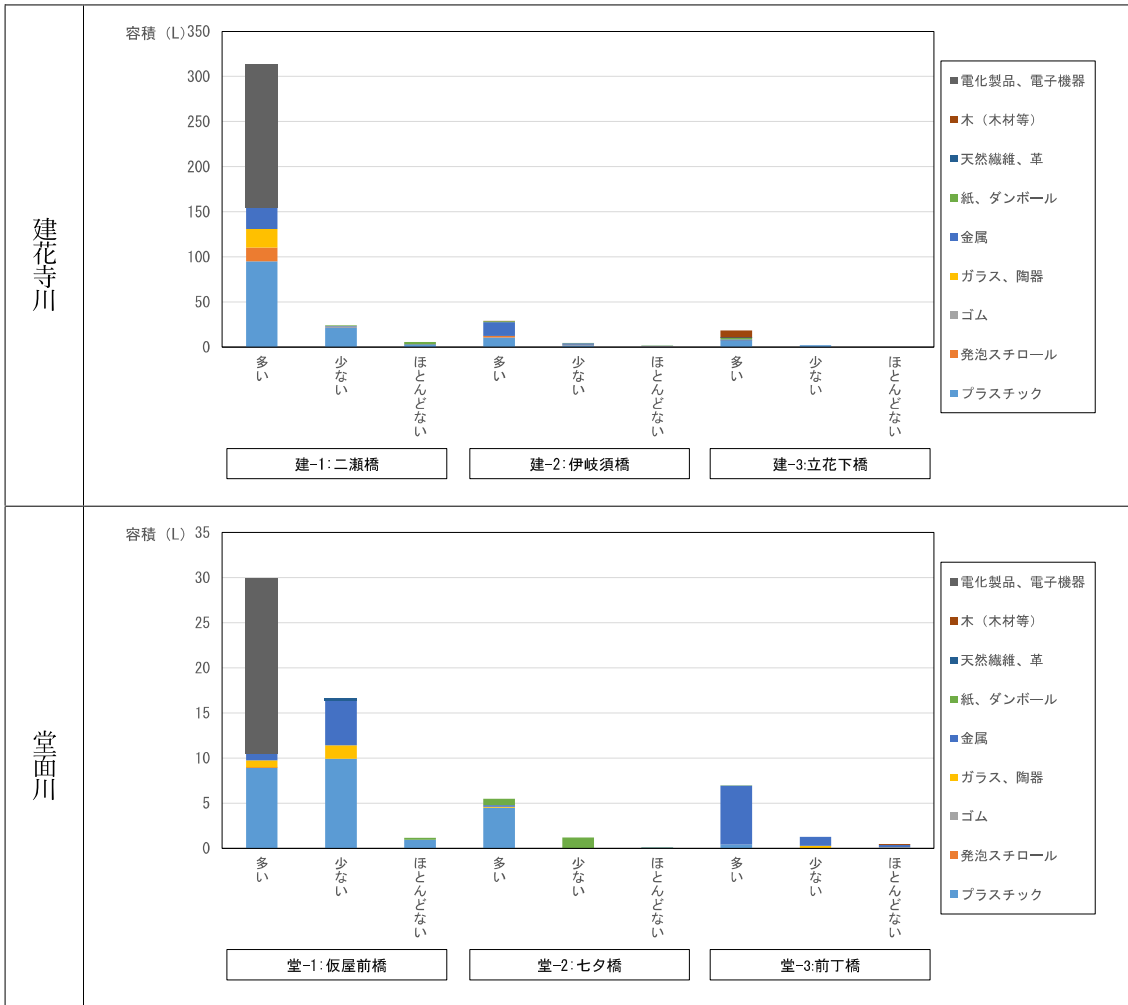


図 4-2-21 回収物の組成別容積（自然物を含まない）(2/2)

④組成別割合

回収物のうち、人工物の組成別割合（大分類）は、湿重量比が図 4-2-22、容積比が図 4-2-23 に示すとおりである。

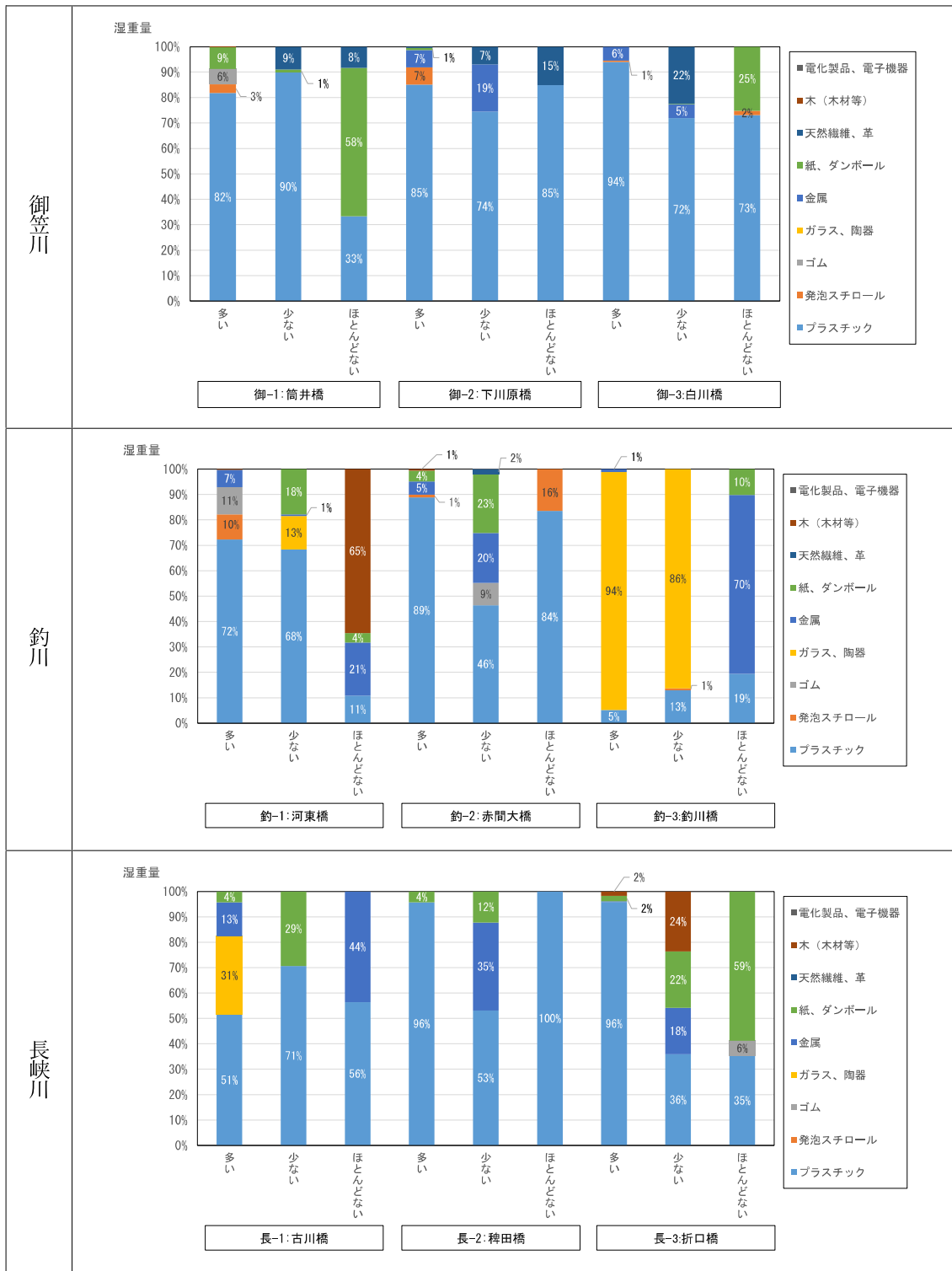
確認された組成の割合は、下記のとおりである。

<湿重量>

- ・御笠川：「御-1：筒井橋」でプラスチックが33～90%、発泡スチロールが0～3%、ゴムが0～6%、紙、ダンボールが1～58%、天然繊維、草が0～9%である。
「御-2：下川原橋」では、プラスチックが74～85%、発泡スチロールが0～7%、金属が0～19%、紙、ダンボールが0～1%、天然繊維、草が0～15%である。
「御-3：白川橋」では、プラスチックが72～94%、発泡スチロールが0～2%、金属が0～6%、紙、ダンボールが0～25%、天然繊維、草が0～22%である。
- ・釣川：「釣-1：河東橋」では、プラスチックが11～72%、発泡スチロールが0～10%、ゴムが0～11%、ガラス、陶器が0～13%、金属が1～21%、紙、ダンボールが0～18%、木（木材等）が0～65%である。
「釣-2：赤間大橋」では、プラスチックが46～89%、発泡スチロールが0～16%、ゴムが0～9%、金属が0～20%、紙、ダンボールが0～23%、天然繊維、草が0～2%、木（木材等）が0～1%である。
「釣-3：釣川橋」では、プラスチックが5～19%、発泡スチロールが0～1%、ガラス、金属が0～94%、金属が0～70%、紙、ダンボールが0～10%である。
- ・長峡川：「長-1：古川橋」では、プラスチックが51～71%、ガラス、陶器が0～31%、金属が0～44%、紙、ダンボールが0～29%である。
「長-2：稗田橋」では、プラスチックが53～100%、金属が0～35%、紙、ダンボールが0～12%である。
「長-3：折口橋」では、プラスチックが35～96%、ゴムが0～6%、金属が0～18%、紙、ダンボールが2～59%、木（木材等）が0～24%である。
- ・建花寺川：「建-1：二瀬橋」では、プラスチックが11～75%、発泡スチロールが0～2%、ガラス、陶器が10～15%、金属が6～18%、紙、ダンボールが0～20%、電化製品、電子機器が0～68%である。
「建-2：伊岐須橋」では、プラスチックが22～42%、発泡スチロールが1～5%、ゴムが0～43%、ガラス、陶器が0～5%、金属が25～75%、紙、ダンボールが3～11%、木（木材等）が0～1%である。
「建-3：立花下橋」では、プラスチックが56～100%、ガラス、陶器が0～3%、金属が0～15%、紙、ダンボールが0～9%、天然繊維、草が0～2%、木（木材等）が0～16%である。
- ・堂面川：「堂-1：仮屋前橋」では、プラスチックが8～88%、ガラス、陶器が0～26%、金属が0～26%、紙、ダンボールが0～12%、天然繊維、草が0～3%、電化製品、電子機器が0～70%である。
「堂-2：七夕橋」では、プラスチックが0～49%、ガラス、陶器が0～33%、金属が0～20%、紙、ダンボールが15～100%である。
「堂-3：前丁橋」では、プラスチックが0～49%、ゴムが0～11%、ガラス、陶器が0～85%、金属が15～50%、木（木材等）が0～64%である。

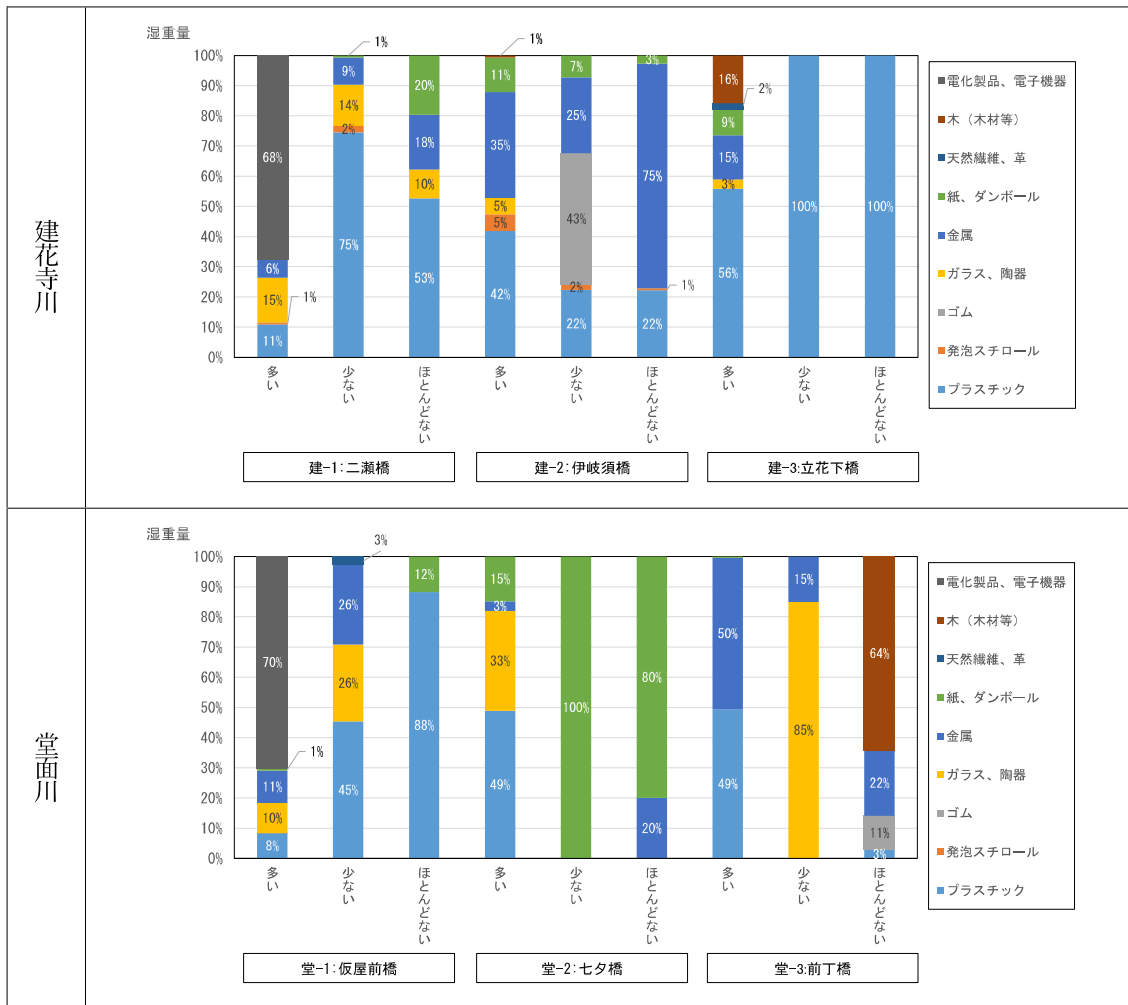
<容積>

- ・御笠川：「御-1：筒井橋」でプラスチックが64～97%、発泡スチロールが0～12%、ゴムが0～1%、紙、ダンボールが1～27%、天然繊維、草が0～9%である。
「御-2：下川原橋」では、プラスチックが66～94%、発泡スチロールが0～20%、金属が0～23%、天然繊維、草が0～11%である。
「御-3：白川橋」では、プラスチックが66～94%、発泡スチロールが0～3%、金属が0～9%、紙、ダンボールが0～31%、天然繊維、草が0～7%である。
- ・釣川：「釣-1：河東橋」では、プラスチックが21～82%、発泡スチロールが0～47%、ゴムが0～2%、ガラス、陶器が0～1%、金属が0～35%、紙、ダンボールが0～17%、木（木材等）が0～38%である。
「釣-2：赤間大橋」では、プラスチックが55～95%、発泡スチロールが0～11%、ゴムが0～4%、金属が0～15%、紙、ダンボールが0～25%、天然繊維、草が0～1%である。
「釣-3：釣川橋」では、プラスチックが40～56%、発泡スチロールが0～6%、ガラス、金属が0～46%、金属が0～57%、紙、ダンボールが0～3%である。
- ・長峡川：「長-1：古川橋」では、プラスチックが80～89%、ガラス、陶器が0～1%、金属が0～20%、紙、ダンボールが0～18%である。
「長-2：稗田橋」では、プラスチックが56～100%、金属が0～34%、紙、ダンボールが0～10%である。
「長-3：折口橋」では、プラスチックが42～98%、ゴムが0～9%、金属が0～6%、紙、ダンボールが1～48%、木（木材等）が0～4%である。
- ・建花寺川：「建-1：二瀬橋」では、プラスチックが30～91%、発泡スチロールが0～5%、ガラス、陶器が1～7%、金属が4～11%、紙、ダンボールが0～42%、電化製品、電子機器が0～51%である。
「建-2：伊岐須橋」では、プラスチックが37～45%、発泡スチロールが3～16%、ゴムが0～7%、金属が31～53%、紙、ダンボールが3～12%である。
「建-3：立花下橋」では、プラスチックが38～100%、金属が0～8%、紙、ダンボールが0～11%、木（木材等）が0～43%である。
- ・堂面川：「堂-1：仮屋前橋」では、プラスチックが30～83%、ガラス、陶器が0～9%、金属が0～30%、紙、ダンボールが0～17%、天然繊維、草が0～1%、電化製品、電子機器が0～65%である。
「堂-2：七夕橋」では、プラスチックが0～82%、ガラス、陶器が0～2%、金属が0～8%、紙、ダンボールが13～100%である。
「堂-3：前丁橋」では、プラスチックが0～12%、ゴムが0～11%、ガラス、陶器が0～20%、金属が56～93%、紙、ダンボールが0～1%、木（木材等）が0～22%である。



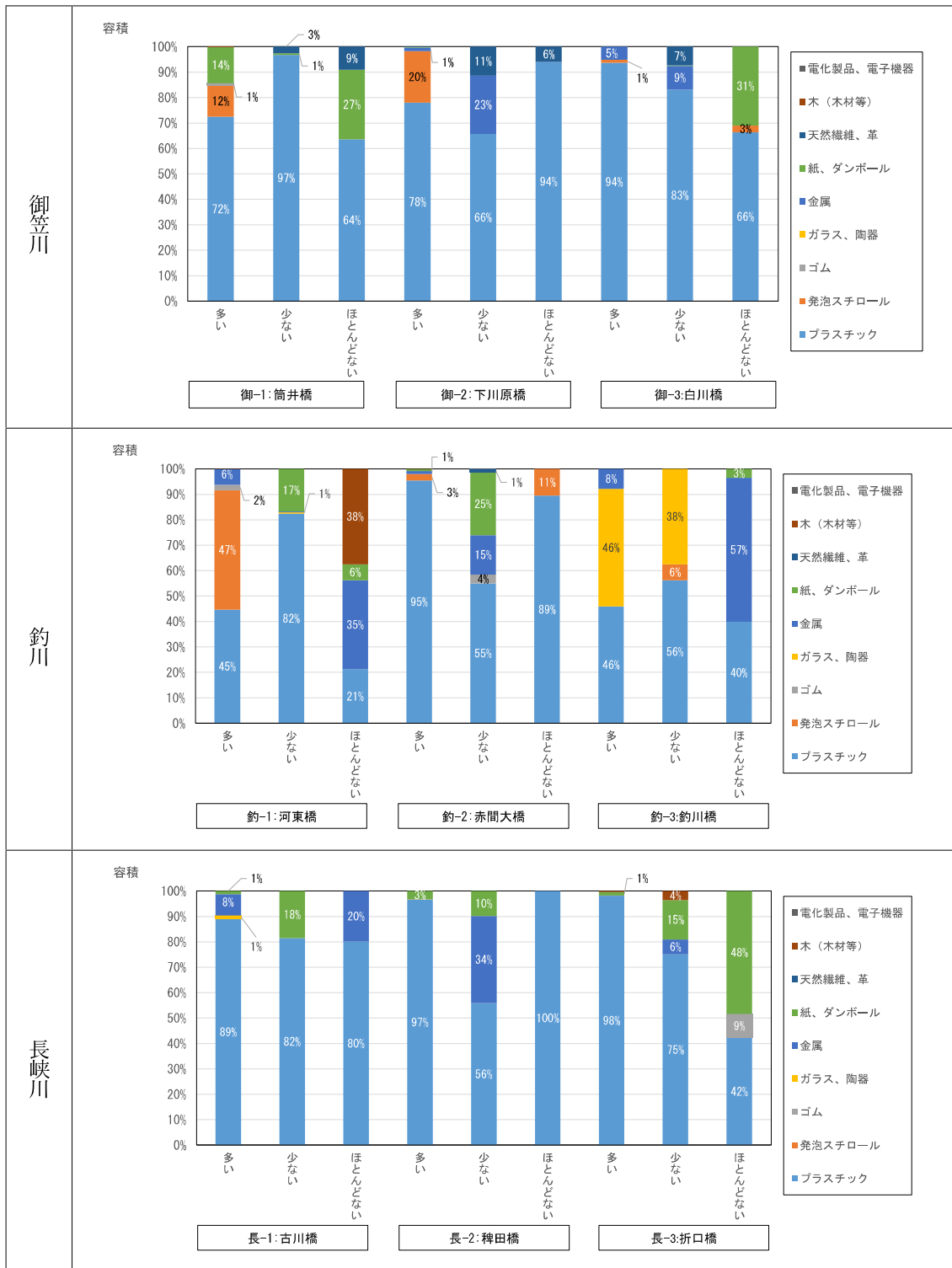
注：四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

図 4-2-22 人工物の大分類割合(湿重量比) (1/2)



注：四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

図 4-2-22 人工物の大分類割合(湿重量比) (1/2)



注：四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

図 4-2-23 人工物の大分類割合(容積比) (1/2)

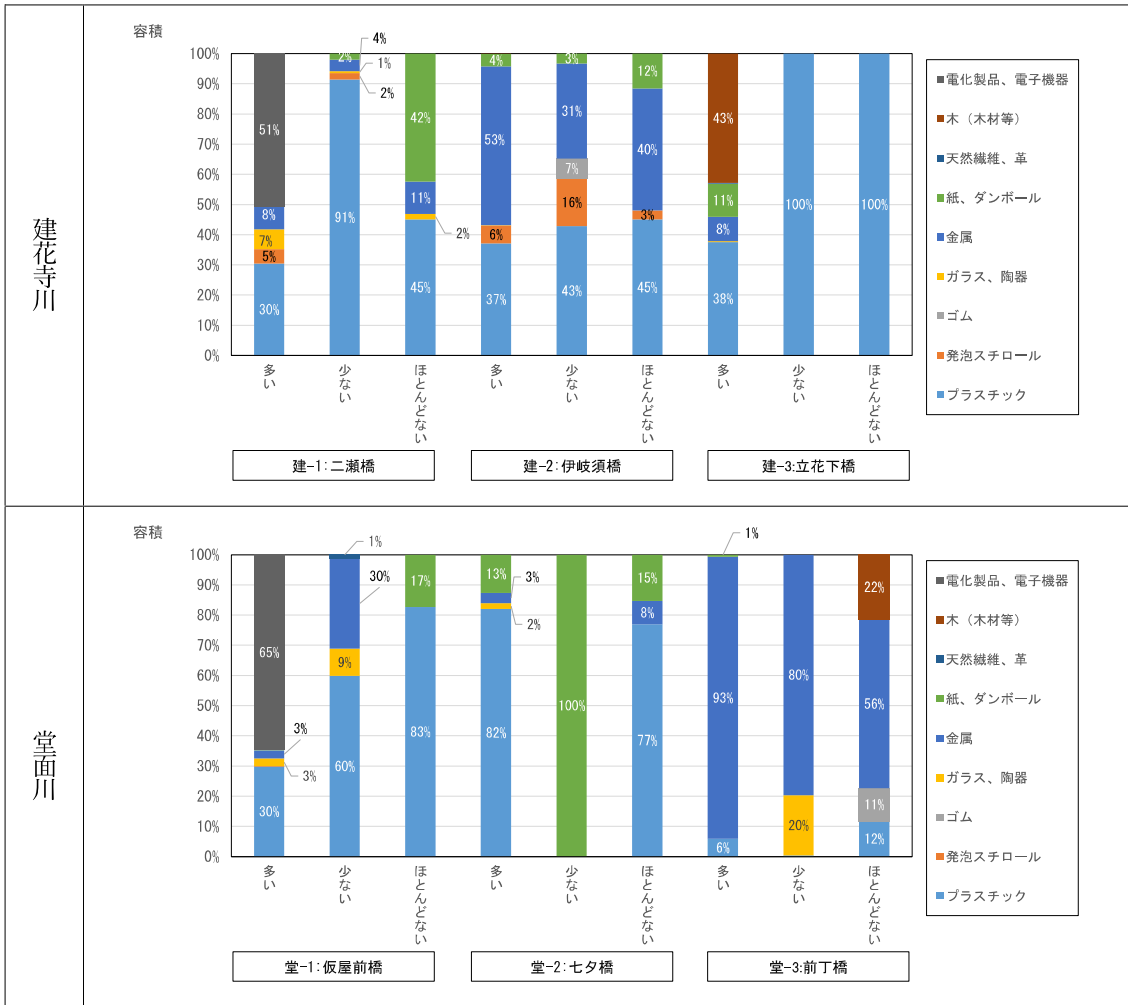


図 4-2-23 人工物の大分類割合(容積比) (2/2)

①各地点の上位品目

各地点で多く確認された品目について、表4-2-8に示す。各調査地点のうち、「ごみが多い箇所」で回収したごみについて、個数の上位10品目（地点によっては種類が少なく10品目ない場合がある）について、個数、湿重量及び容量を含めたランキング表を表4-2-9～表4-2-13のとおり作成した。また、プラスチック類（プラスチック＋発泡スチロール）の中でも、1回の使用で廃棄される品目（プラスチック類ワンウェイ製品(OW製品)）の割合を、図4-2-24～図4-2-28に示した。

主な特徴は、下記のとおりである。

表4-2-8 調査河川別の結果（品目）

御笠川	<ul style="list-style-type: none"> ・多くみられた品目は、プラスチック製の食品容器包装、シートや袋の破片、レジ袋である（表4-2-9）。 ・プラスチック及び発泡スチロールといったプラスチック類が、河川敷ごみの品目の上位を占めている（表4-2-9）。 ・人工物のうち、プラスチック製のワンウェイ製品が、約7割を占めている（図4-2-24）。
釣川	<ul style="list-style-type: none"> ・多くみられた品目は、ペットボトル（1L未満）及びプラスチック製の食品容器包装である。特にペットボトルは、河東橋で多くみられた（表4-2-10）。 ・プラスチック及び発泡スチロールといったプラスチック類が、流下ごみの品目の上位を占めている（表4-2-10）。 ・人工物のうち、プラスチック製のワンウェイ製品が、5～7割を占めている（図4-2-25）。
長峡川	<ul style="list-style-type: none"> ・多くみられた品目は、シートや袋の破片、プラスチック製の食品容器、ペットボトル（1L未満）である（表4-2-11）。 ・プラスチック及び発泡スチロールといったプラスチック類が、流下ごみの品目の上位を占めている（表4-2-11）。 ・人工物のうち、プラスチック製のワンウェイ製品が、6～9割を占めている（図4-2-26）。
建花寺川	<ul style="list-style-type: none"> ・多くみられた品目は、プラスチック製の食品容器、たばこの吸い殻、プラスチック製の袋である。二瀬橋では、金属（スチール製やアルミ製の空き缶）の個数も多い（表4-2-12）。 ・プラスチック及び発泡スチロールといったプラスチック類が、流下ごみの品目の上位に多い（表4-2-12）。 ・人工物のうち、プラスチック製のワンウェイ製品が、4～8割を占めている（図4-2-27）。
堂面川	<ul style="list-style-type: none"> ・多くみられた品目は、プラスチック製の食品の容器包装、アルミの飲料缶である（表4-2-13）。 ・前丁橋をのぞいて、プラスチック及び発泡スチロールといったプラスチック類が、流下ごみの品目の上位を占めていた。前丁橋では、金属（アルミの飲料缶）が多い（表4-2-13）。 ・前丁橋を除くと、人工物のうち、プラスチック製のワンウェイ製品が、7割を占めている（図4-2-28）。

- ✓ 堂面川の前丁橋を除くと、いずれの地点も、プラスチック及び発泡スチロールといったプラスチック類が上位を占めている。
- ✓ 特にプラスチック製の食品容器包装、ペットボトル（1L未満）等が多くみられた。
- ✓ 人工物の内訳（個数ベース）をみると、ほとんどの地点でOW製品の割合が6割以上を占めていた。

表4-2-9 個数の上位10品目（湿重量、容積を含む）＜御笠川＞

御笠川（御-1 筒井橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数			湿重量				容積				
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	食品の容器包装（プラスチック）	11	1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.702	1	○	硬質プラスチック破片	5.00
2	○	紙片（ダンボール、新聞紙等を含む）	7	2	○	硬質プラスチック破片	0.471	2	○	ロープ、ひも、ネット	3.00
3	○	その他プラスチック袋	5	3	○	ロープ、ひも、ネット	0.218	2	○	レジ袋	3.00
3	○	食品容器（発泡スチロール）	5	4	○	レジ袋	0.135	2	○	食品容器（発泡スチロール）	3.00
5	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	4	5	○	玩具、ボール	0.128	2	○	紙袋	3.00
5	○	食品容器（プラスチック）	4	6	○	紙片（ダンボール、新聞紙等を含む）	0.080	6	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	2.00
5	○	シートや袋の破片	4	7	○	食品容器（発泡スチロール）	0.073	6	○	食品の容器包装（プラスチック）	2.00
5	○	たばこ吸殻（フィルター）	4	8	○	紙袋	0.048	8	○	その他プラスチック袋	1.00
9	○	レジ袋	3	9	○	その他のプラボトル＜1L	0.039	9	○	その他のプラボトル＜1L	0.50
9	○	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	3	10	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.034	10	○	使い捨てマスク	0.30
9	○	使い捨てマスク	3	11	○	使い捨てマスク	0.031	11	○	玩具、ボール	0.20
9	○	その他（プラスチック）	3	12	○	その他（紙・段ボール）	0.028	11	○	紙片（ダンボール、新聞紙等を含む）	0.20

御笠川（御-2 下川原橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数			湿重量				容積				
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	シートや袋の破片	20	1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.133	1	○	その他プラスチック袋	4.00
2	○	食品の容器包装（プラスチック）	11	2	○	その他プラスチック袋	0.098	2	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	3.00
3	○	その他プラスチック袋	8	3	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.051	3	○	発泡スチロールの破片	2.50
4	○	発泡スチロールの破片	7	4	○	シートや袋の破片	0.038	4	○	食品の容器包装（プラスチック）	2.00
5	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	6	5	○	アルミの飲料缶	0.032	4	○	シートや袋の破片	2.00
6	○	ボトルのキャップ、ふた	4	6	○	発泡スチロールの破片	0.023	4	○	レジ袋	2.00
6	○	その他（プラスチック）	4	7	○	ボトルのキャップ、ふた	0.021	7	○	食品容器（発泡スチロール）	1.00
8	○	レジ袋	3	8	○	レジ袋	0.020	8	○	アルミの飲料缶	0.25
8	○	食品容器（発泡スチロール）	3	9	○	硬質プラスチック破片	0.017	9	○	その他（プラスチック）	0.20
8	○	その他（紙・段ボール）	3	10	○	その他のプラボトル＜1L	0.014	10	○	その他のプラボトル＜1L	0.15

御笠川（御-3 白川橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数			湿重量				容積				
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	レジ袋	32	1	○	その他プラスチック袋	0.143	1	○	その他プラスチック袋	2.00
2	○	その他（プラスチック）	16	2	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.114	1	○	レジ袋	2.00
3	○	食品の容器包装（プラスチック）	14	3	○	レジ袋	0.083	3	○	食品の容器包装（プラスチック）	1.20
4	○	その他プラスチック袋	9	4	○	シートや袋の破片	0.067	4	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	1.18
5	○	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	6	5	○	その他（プラスチック）	0.059	5	○	シートや袋の破片	1.00
6	○	発泡スチロールの破片	4	6	○	硬質プラスチック破片	0.043	6	○	その他（プラスチック）	0.80
7	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	3	7	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.033	7	○	アルミの飲料缶	0.45
8	○	アルミの飲料缶	2	8	○	アルミの飲料缶	0.03	8	○	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	0.30
9	○	シートや袋の破片	1	9	○	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	0.005	8	○	硬質プラスチック破片	0.30
9	○	硬質プラスチック破片	1	10	○	発泡スチロールの破片	0.003	10	○	発泡スチロールの破片	0.20
9	○	金属片	1	11	○	金属片	0.002	11	○	金属片	0.10

※凡例： プラスチック、発泡スチロール 金属 紙、ダンボール その他

個数 プラ製ワンウェイ製品の割合（ごみが多い箇所）（御笠川）

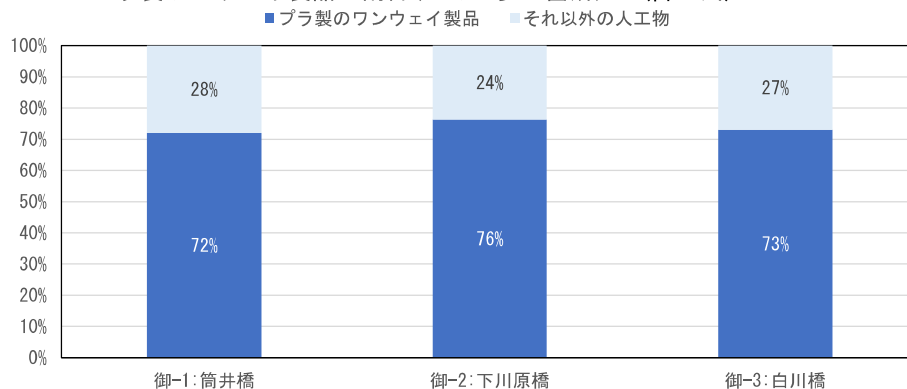


図4-2-24 人工物中のプラスチック類ワンウェイ製品の割合（個数ベース）＜御笠川＞

表4-2-10 個数の上位10品目（湿重量、容積を含む）＜釣川＞

釣川（釣-1:河東橋）【河川数ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	13	1	○	その他プラスチック袋	0.639	1	○	発泡スチロール製包装材	10.00
2	○	食品容器（発泡スチロール）	7	2	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.346	2	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	6.50
3		発泡スチロールの破片	6	3	○	発泡スチロール製包装材	0.093	3	○	その他プラスチック袋	5.00
4		アルミの飲料缶	4	4		アルミの飲料缶	0.092	4	○	食品容器（発泡スチロール）	2.00
5	○	発泡スチロール製包装材	2	5		玩具、ボール	0.080	5		アルミの飲料缶	1.60
6	○	ストロー	1	6		靴（サンダル、靴底含む）	0.066	6		靴（サンダル、靴底含む）	0.50
6	○	その他プラスチック袋	1	7	○	食品容器（発泡スチロール）	0.038	7		発泡スチロールの破片	0.10
6		その他（プラスチック）	1	8		その他（木材等）	0.005	8		玩具、ボール	0.03
6		玩具、ボール	1	9		発泡スチロールの破片	0.004	9		その他（木材等）	0.02
6		靴（サンダル、靴底含む）	1	10		その他（プラスチック）	0.003	9		その他（プラスチック）	0.02
6		ゴムの破片	1	11		ゴムの破片	<0.001	11		ゴムの破片	0.01
6		その他（木材等）	1	11	○	ストロー	<0.001	11	○	ストロー	0.01

釣川（釣-2:赤間大橋）【河川数ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	食品の容器包装（プラスチック）	9	1		生活雑貨（歯ブラシ等）	0.557	1		生活雑貨（歯ブラシ等）	15.00
2		その他（紙・段ボール）	6	2	○	レジ袋	0.038	2	○	食品の容器包装（プラスチック）	2.00
3		その他（木材等）	4	3		その他の缶（ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等）	0.036	3	○	レジ袋	1.00
4	○	その他プラスチック袋	3	4	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.027	4	○	食品容器（プラスチック）	0.50
5	○	レジ袋	2	5		その他（紙・段ボール）	0.022	4	○	食品容器（発泡スチロール）	0.50
5		その他（プラスチック）	2	6		食品包装材	0.009	6		その他の缶（ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等）	0.20
5	○	食品容器（発泡スチロール）	2	6	○	食品容器（プラスチック）	0.009	7		その他（紙・段ボール）	0.10
5		食品包装材	2	8	○	食品容器（発泡スチロール）	0.008	8		食品包装材	0.04
9	○	食品容器（プラスチック）	1	9		その他（木材等）	0.004	8		その他（プラスチック）	0.04
9		生活雑貨（歯ブラシ等）	1	10		その他（プラスチック）	0.003	10		その他（木材等）	0.02
9		その他の缶（ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等）	1	11	○	その他プラスチック袋	0.002	10	○	その他プラスチック袋	0.02
9		その他（金属）	1	11		その他（金属）	0.002	10		その他（金属）	0.02

釣川（釣-3:釣川橋）【河川数ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	食品の容器包装（プラスチック）	9	1		その他（ガラス・陶器）	7.220	1		その他（ガラス・陶器）	4.50
2	○	シートや袋の破片	7	2		ガラス、陶器の破片	0.113	2	○	食品容器（プラスチック）	0.80
3	○	レジ袋	6	3	○	その他プラスチック袋	0.089	3	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.70
4		その他（プラスチック）	5	4	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.072	4		アルミの飲料缶	0.60
5	○	コップ、食器	4	5		アルミの飲料缶	0.058	5	○	その他プラスチック袋	0.50
5		アルミの飲料缶	4	6	○	食品容器（プラスチック）	0.049	5	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.50
7	○	食品容器（プラスチック）	3	7	○	レジ袋	0.043	5	○	コップ、食器	0.50
7	○	その他プラスチック袋	3	8	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.037	8	○	レジ袋	0.40
7	○	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	3	8		スチール製飲料用缶	0.037	8	○	使い捨てマスク	0.40
7	○	使い捨てマスク	3	10	○	使い捨てマスク	0.032	10		その他（プラスチック）	0.30

※凡例： プラスチック、発泡スチロール 金属 紙、ダンボール その他

個数 プラ製ワンウェイ製品の割合（ごみが多い箇所）（釣川）

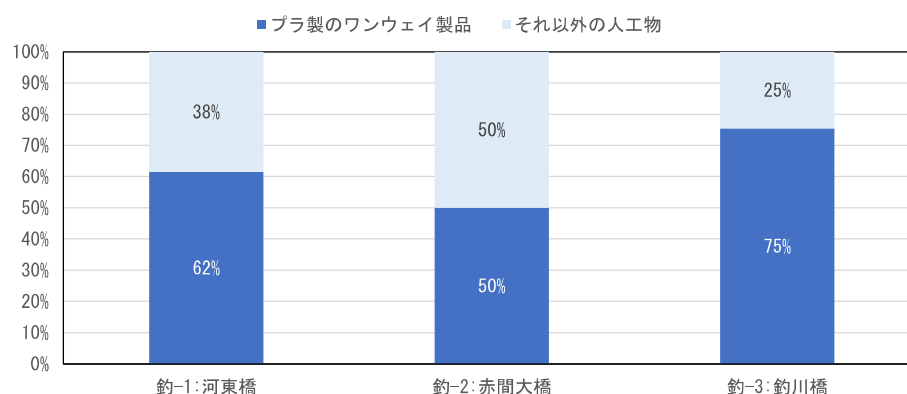


図4-2-25 人工物中のプラスチック類ワンウェイ製品の割合（個数ベース）＜釣川＞

表4-2-11 個数の上位10品目（湿重量、容積を含む）＜長峡川＞

長峡川（長-1:古川橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	シートや袋の破片	13	1	○	食品容器（ガラス・陶器）	0.115	1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	2.00
2	○	食品の容器包装（プラスチック）	9	2	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.087	2	○	飲料用（ペットボトル）≥1L	1.50
3	○	その他（プラスチック）	6	3	○	アルミの飲料缶	0.048	2	○	食品の容器包装（プラスチック）	1.50
4	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	4	4	○	飲料用（ペットボトル）≥1L	0.035	4	○	その他（プラスチック）	1.00
4	○	たばこ吸殻（フィルター）	4	5	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.021	5	○	アルミの飲料缶	0.70
6	○	コップ、食器	2	6	○	コップ、食器	0.020	6	○	レジ袋	0.50
6	○	アルミの飲料缶	2	7	○	紙製コップ、食器	0.016	7	○	コップ、食器	0.40
8	○	ボトルのキャップ、ふた	1	8	○	その他（プラスチック）	0.015	8	○	シートや袋の破片	0.30
8	○	飲料用（ペットボトル）≥1L	1	9	○	シートや袋の破片	0.004	9	○	その他プラスチック袋	0.20
8	○	レジ袋	1	10	○	レジ袋	0.003	10	○	食品容器（ガラス・陶器）	0.10
8	○	その他プラスチック袋	1	11	○	苗木ポット	0.002	10	○	紙製コップ、食器	0.10
8	○	苗木ポット	1	11	○	その他プラスチック袋	0.002	10	○	苗木ポット	0.10
8	○	発泡スチロールの破片	1	11	○	ボトルのキャップ、ふた	0.002	13	○	ボトルのキャップ、ふた	0.01
8	○	食品容器（ガラス・陶器）	1	11	○	ビンのかた、キャップ、フルタブ	0.002	13	○	ビンのかた、キャップ、フルタブ	0.01
8	○	ビンのかた、キャップ、フルタブ	1	15	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.001	13	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.01
8	○	その他（金属）	1	16	○	発泡スチロールの破片	<0.001	13	○	発泡スチロールの破片	0.01
8	○	紙製コップ、食器	1	16	○	その他（金属）	<0.001	17	○	その他（金属）	0.001

長峡川（長-2:稗田橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	食品の容器包装（プラスチック）	13	1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.133	1	○	レジ袋（内容物入り）	3.00
2	○	たばこ吸殻（フィルター）	4	2	○	レジ袋（内容物入り）	0.081	2	○	食品の容器包装（プラスチック）	2.00
3	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	3	3	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.054	3	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	1.00
4	○	レジ袋（内容物入り）	1	4	○	紙製容器（飲料用紙パック等）	0.012	4	○	紙製容器（飲料用紙パック等）	0.20
4	○	発泡スチロールの破片	1	5	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.001	5	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.01
4	○	紙製容器（飲料用紙パック等）	1	6	○	発泡スチロールの破片	<0.001	6	○	発泡スチロールの破片	0.005

長峡川（長-3:折口橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	6	1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.183	1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	3.00
1	○	その他（プラスチック）	6	2	○	食品容器（プラスチック）	0.115	1	○	食品容器（プラスチック）	3.00
3	○	食品容器（プラスチック）	5	3	○	飲料用（ペットボトル）≥1L	0.088	3	○	飲料用（ペットボトル）≥1L	2.00
4	○	シートや袋の破片	4	4	○	その他（木材等）	0.007	4	○	その他（プラスチック）	0.20
5	○	その他プラスチック袋	3	5	○	タバコのパッケージ（フィルム、銀紙を含む）	0.006	5	○	タバコのパッケージ（フィルム、銀紙を含む）	0.05
5	○	たばこ吸殻（フィルター）	3	5	○	その他（プラスチック）	0.006	5	○	シートや袋の破片	0.05
7	○	飲料用（ペットボトル）≥1L	2	7	○	シートや袋の破片	0.002	5	○	食品包装材	0.05
7	○	その他（木材等）	2	8	○	その他プラスチック袋	0.001	8	○	その他（木材等）	0.03
9	○	食品の容器包装（プラスチック）	1	8	○	食品包装材	0.001	8	○	その他プラスチック袋	0.03
9	○	その他（金属）	1	8	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.001	10	○	その他（紙・段ボール）	0.02
9	○	タバコのパッケージ（フィルム、銀紙を含む）	1	8	○	その他（紙・段ボール）	0.001	11	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.015
9	○	食品包装材	1	8	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.001	11	○	その他（金属）	0.015
9	○	その他（紙・段ボール）	1	8	○	その他（金属）	0.001	13	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.01

※凡例： プラスチック、発泡スチロール 金属 紙、ダンボール その他

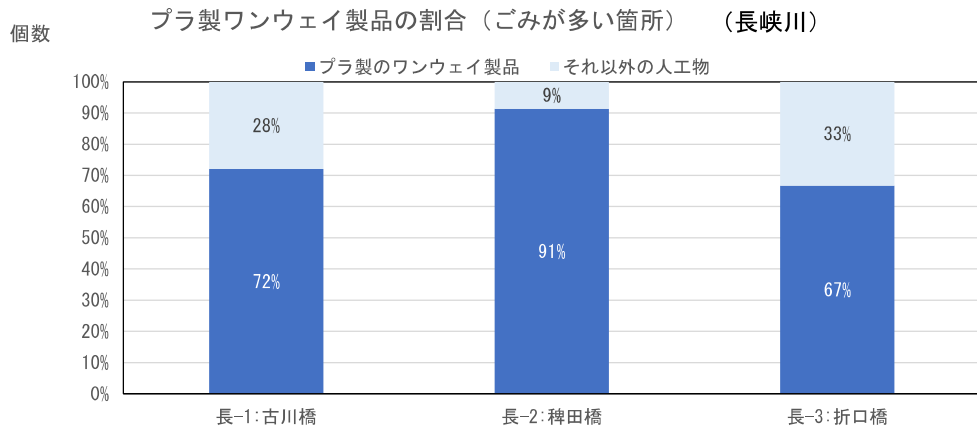


図4-2-26 人工物中のプラスチック類ワンウェイ製品の割合（個数ベース）＜長峡川＞

表4-2-12 個数の上位10品目（湿重量、容積を含む）＜建花寺川＞

建花寺川（建-1:二瀬橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	食品の容器包装（プラスチック）	87	1		電化製品、電子機器	23.358	1		電化製品、電子機器	158.34
2		その他（プラスチック）	38	2		食品容器（ガラス・陶器）	1.960	2	○	食品の容器包装（プラスチック）	35.00
3	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	35	3		電球	1.680	3	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	22.00
4		スチール製飲料用缶	31	4	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	1.780	4		電球	15.00
5	○	レジ袋	26	5		スチール製飲料用缶	1.250	5	○	食品容器（発泡スチロール）	15.00
6		アルミの飲料缶	18	6		その他（ガラス・陶器）	0.760	6	○	レジ袋	15.00
7	○	食品容器（発泡スチロール）	17	7	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.620	7		スチール製飲料用缶	12.00
8	○	食品容器（プラスチック）	16	8		その他（プラスチック）	0.570	8		アルミの飲料缶	9.00
8	○	シートや袋の破片	16	9		アルミの飲料缶	0.460	9	○	飲料用（ペットボトル）≥1L	8.00
10	○	その他プラスチック袋	15	10		その他（金属）	0.410	10	○	食品容器（プラスチック）	8.00
10		食品容器（ガラス・陶器）	15	11		コップ、食器	0.290	11		食品容器（ガラス・陶器）	4.00

建花寺川（建-2:伊岐須橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	たばこ吸殻（フィルター）	150	1		アルミの飲料缶	0.470	1		アルミの飲料缶	15.00
2		アルミの飲料缶	20	2	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.182	2		その他（プラスチック）	3.00
3	○	食品の容器包装（プラスチック）	13	3		タバコのパッケージ（フィルム、銀紙を含む）	0.155	3	○	レジ袋	2.00
4		タバコのパッケージ（フィルム、銀紙を含む）	8	4		その他（プラスチック）	0.123	3	○	食品の容器包装（プラスチック）	2.00
5	○	レジ袋	5	5	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.095	5	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	1.85
5	○	その他プラスチック袋	5	6	○	レジ袋	0.088	6		タバコのパッケージ（フィルム、銀紙を含む）	1.00
5		その他（発泡スチロール）	5	7		食品容器（ガラス・陶器）	0.081	6		その他（発泡スチロール）	1.00
5		その他（紙・段ボール）	5	8	○	食品容器（発泡スチロール）	0.071	8	○	食品容器（発泡スチロール）	0.70
9	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	4	9	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.060	9	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.50
10		その他（プラスチック）	3	10		スチール製飲料用缶	0.048	9	○	その他プラスチック袋	0.50
10		その他（木材等）	3	11	○	コップ、食器	0.029	11	○	コップ、食器	0.40

建花寺川（建-3:立花下橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	その他プラスチック袋	6	1	○	レジ袋（内容物入り）	0.726	1		その他（木材等）	8.00
2		アルミの飲料缶	5	2		その他（木材等）	0.253	2	○	レジ袋（内容物入り）	4.00
3		その他（プラスチック）	4	3		スチール製飲料用缶	0.146	3		その他（紙・段ボール）	2.00
4	○	食品の容器包装（プラスチック）	3	4		その他（紙・段ボール）	0.129	4		アルミの飲料缶	1.00
4	○	レジ袋（内容物入り）	3	5		アルミの飲料缶	0.088	4	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	1.00
6	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	2	6		その他（プラスチック）	0.053	4	○	その他プラスチック袋	1.00
6		スチール製飲料用缶	2	7		その他（ガラス・陶器）	0.049	7		スチール製飲料用缶	0.50
6		その他（紙・段ボール）	2	8	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.048	7	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.50
9	○	ボトルのキャップ、ふた	1	9		その他（天然繊維・革）	0.032	9		その他（プラスチック）	0.30
9	○	レジ袋	1	9	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.032	10	○	レジ袋	0.20
9		その他（ガラス・陶器）	1	11	○	その他プラスチック袋	0.021	11		その他（ガラス・陶器）	0.05
9		紙製コップ、食器	1	12		紙製コップ、食器	0.011	11		その他（天然繊維・革）	0.05
9		その他（天然繊維・革）	1	13	○	レジ袋	0.009	11		紙製コップ、食器	0.05
9		その他（木材等）	1	14	○	ボトルのキャップ、ふた	0.008	14	○	ボトルのキャップ、ふた	0.01

※凡例： プラスチック、発泡スチロール 金属 紙、ダンボール その他

個数 プラ製ワンウェイ製品の割合（ごみが多い箇所）（建花寺川）

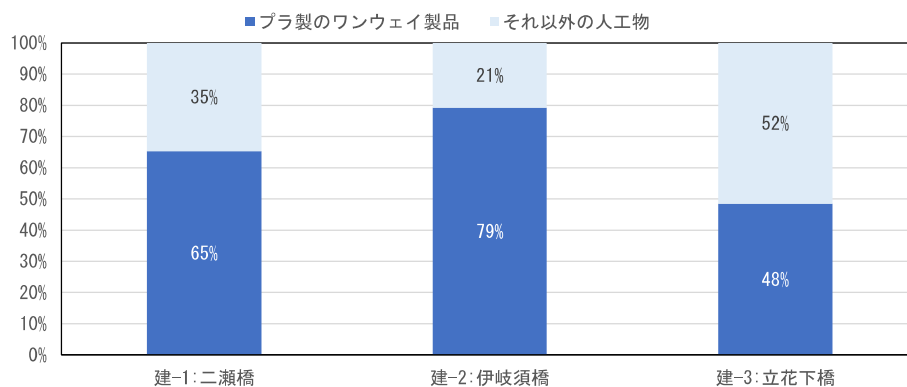


図4-2-27 人工物中のプラスチック類ワンウェイ製品の割合（個数ベース）＜建花寺川＞

表4-2-13 個数の上位10品目（湿重量、容積を含む）＜堂面川＞

堂面川（堂-1: 仮屋前橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	食品の容器包装（プラスチック）	9	1		電化製品、電子機器	5.100	1		電化製品、電子機器	19.38
2	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	7	2	○	その他（金属）	0.762	2	○	レジ袋	3.00
3	○	たばこ吸殻（フィルター）	6	3		ガラス、陶器の破片	0.550	2	○	食品容器（プラスチック）	3.00
4	○	レジ袋	4	4	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.355	4	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	2.62
5	○	食品容器（プラスチック）	3	5		食品容器（ガラス・陶器）	0.173	5		ガラス、陶器の破片	0.60
5		ガラス、陶器の破片	3	6	○	食品容器（プラスチック）	0.100	6		アルミの飲料缶	0.50
5		紙製容器（飲料用紙パック等）	3	7	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.086	7		その他（金属）	0.30
8		その他（金属）	2	8		紙製容器（飲料用紙パック等）	0.060	8	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.20
9	○	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	1	9	○	レジ袋	0.045	9		食品容器（ガラス、陶器）	0.15
9		その他（プラスチック）	1	10		アルミの飲料缶	0.020	10	○	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.05
9		発泡スチロールの破片	1	11		その他（プラスチック）	0.019	10	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.05
9		食品容器（ガラス・陶器）	1	12	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.004	10		発泡スチロールの破片	0.05
9		アルミの飲料缶	1	13	○	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.004	13		紙製容器（飲料用紙パック等）	0.01
9		電化製品、電子機器	1	14		発泡スチロールの破片	0.001	13		その他（プラスチック）	0.01

堂面川（堂-2: 七ヶ橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1	○	食品の容器包装（プラスチック）	9	1		食品容器（ガラス、陶器）	0.105	1	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	1.60
2	○	その他プラスチック袋	3	2	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	0.085	2	○	食品容器（プラスチック）	1.00
2		食品包装材（紙）	3	3		紙製容器（飲料用紙パック等）	0.042	3	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.80
4	○	飲料用（ペットボトル）＜1L	2	4	○	食品容器（プラスチック）	0.039	4	○	レジ袋	0.70
4	○	たばこ吸殻（フィルター）	2	5	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.012	5		紙製容器（飲料用紙パック等）	0.50
6	○	食品容器（プラスチック）	1	6	○	レジ袋	0.012	6		食品包装材（紙）	0.20
6	○	レジ袋	1	7		アルミの飲料缶	0.010	6	○	その他プラスチック袋	0.20
6		その他（プラスチック）	1	8		食品包装材（紙）	0.005	8		アルミの飲料缶	0.19
6		食品容器（ガラス、陶器）	1	9		その他（プラスチック）	0.004	9		食品容器（ガラス・陶器）	0.10
6		アルミの飲料缶	1	10	○	その他プラスチック袋	0.002	9		その他（プラスチック）	0.10
6		紙製容器（飲料用紙パック等）	1	11	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.002	9	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.10

堂面川（堂-3: 前丁橋）【河川敷ごみ（ごみが多い箇所）】											
個数				湿重量				容積			
順位	OW製品	品目	個数	順位	OW製品	品目	重量 (kg)	順位	OW製品	品目	容積 (L)
1		アルミの飲料缶	14	1		保冷剤	0.291	1		アルミの飲料缶	6.37
2	○	食品の容器包装（プラスチック）	1	2		アルミの飲料缶	0.251	2		保冷剤	0.30
2	○	たばこ吸殻（フィルター）	1	3		フォーク、ナイフ、スプーン等（金属）	0.034	3	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.10
2		保冷剤	1	4		ビンのふた、キャップ、プルタブ	0.013	3		フォーク、ナイフ、スプーン等（金属）	0.10
2		ビンのふた、キャップ、プルタブ	1	5		その他（金属）	0.002	5		ビンのふた、キャップ、プルタブ	0.05
2		フォーク、ナイフ、スプーン等	1	6	○	食品の容器包装（プラスチック）	0.000	5		その他（金属）	0.05
2		その他（紙・段ボール）	1	7	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.000	7	○	たばこ吸殻（フィルター）	0.01

※凡例： プラスチック、発泡スチロール 金属 紙、ダンボール その他

個数 プラ製ワンウェイ製品の割合（ごみが多い箇所）（堂面川）

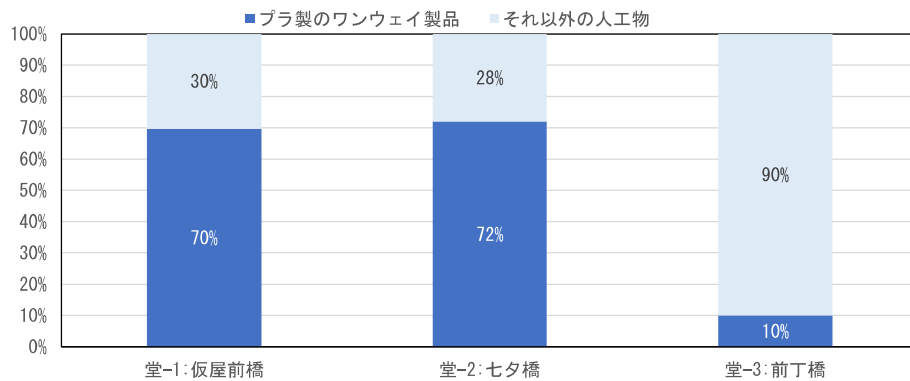


図4-2-28 人工物中のプラスチック類ワンウェイ製品の割合（個数ベース）＜堂面川＞

②回収物の賞味期限

各地点で回収したごみのうち、賞味期限の記載があるものについては、その日付を記録した。調査河川ごとの結果を表4-2-14に示す。表4-2-15～表4-2-19には、河川別に各品目の賞味期限（年月）を、図4-2-29～図4-2-33には、期限の表記が2023年以前か2024年以降かについてその割合をまとめている。

主な特徴は、表4-2-14のとおりである。

表4-2-14 調査河川別の結果（賞味期限）

御笠川	・筒井橋と下川原橋では2023年以前のごみが多く、白川橋では2024年以降のごみが多い（表4-2-15、図4-2-29）。
釣川	・河東橋では、2024年以降のごみが多く、赤間大橋、釣川橋では2023年以前のごみが多い（表4-2-16、図4-2-30）。
長峡川	・古川橋では、2023年以前と2024年以降のごみがほぼ半数ずつ、稗田橋では2024年以降のごみが多く、折口橋では2023年以前のごみが多い（表4-2-17、図4-2-31）。
建花寺川	・二瀬橋では、2023年以前のごみが多く、伊岐須橋と立花下橋では2024年以降のごみが多い（表4-2-18、図4-2-32）。
堂面川	・仮屋前橋では、2023年以前と2024年以降のごみがほぼ半数ずつ、七夕橋と前丁橋では2024年以降のごみが多い（表4-2-19、図4-2-33）。

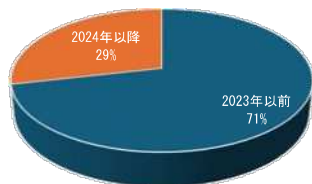
- ✓ 河川や調査地点によって傾向に類似性はみられなかった。
- ✓ 一方、河川流下ごみの結果と比較すると、釣川の「釣-1：河東橋」、長峡川の「長-2：稗田橋」、建花寺川の「建-2：伊岐須橋」では、2024年以降の日付のごみが8割前後を占めているという傾向が一致している。

表4-2-15 回収したごみの賞味期限<御笠川>

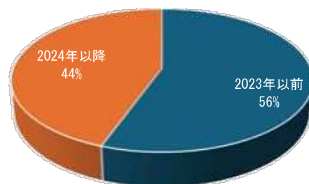
河川	調査地点	調査箇所	品目	賞味期限 (年,月)	
御笠川	御-1	筒井橋	ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2020.5
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024.4
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024.11
			ごみが多い	その他のプラボトル<1L	2023.7
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2017.8
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2022.5
			ごみがほとんどない	食品の容器包装 (プラスチック)	2021.7
			2023年以前 (個)		5
			2024年以降 (個)		2
	御-2	下川原橋	ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2023.2
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2023.11
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2019.11
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2024.2
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2024.3
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2024.5
			ごみが少ない	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024.4
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2023.7
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2023.12
					2023年以前 (個)
			2024年以降 (個)		4
	御-3	白川橋	ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2023.5
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2023.8
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2024
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.7
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2025.9
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2024.1
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2024.7
ごみがほとんどない			食品包装材 (紙・ダンボール)	2024.1	
		2023年以前 (個)		2	
		2024年以降 (個)		6	

※破損等で読み取れなかった場合、年のみを記載している

賞味期限<御-1: 筒井橋>



賞味期限<御-2: 下川原橋>



賞味期限<御-3: 白川橋>

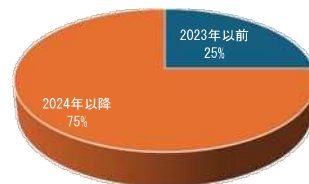


図 4-2-29 回収したごみの賞味期限<御笠川>

表4-2-16 回収したごみの賞味期限<釣川>

河川	調査地点	調査箇所	品目	賞味期限 (年,月)		
釣川	釣-1 河東橋	ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 3		
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 5		
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 6		
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 7		
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 11		
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 12		
		ごみが多い	アルミの飲料缶	2024. 5		
		ごみが多い	アルミの飲料缶	2024. 8		
		ごみが多い	アルミの飲料缶	2024. 1		
		ごみが多い	アルミの飲料缶	2024. 11		
		ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2023. 1		
		ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 2		
		ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 3		
		ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 6		
	ごみがほとんどない	スチール製飲料用缶	2024. 4			
	2023年以前 (個)				1	
	2024年以降 (個)				14	
	釣-2 赤間大橋	赤間大橋	ごみが多い	食品容器 (プラスチック)	2023. 12	
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2023. 11	
			ごみが多い	その他の缶 (ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	2026. 3	
			ごみが多い	食品包装材 (紙・ダンボール)	2025. 1	
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2018. 1	
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2021. 1	
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2022. 12	
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2023. 5	
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2023. 11	
			ごみが多い	食品容器 (プラスチック)	2023. 2	
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2014. 9	
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2021. 12	
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2023. 4	
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2023. 4	
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2023. 11	
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 2	
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 2	
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2016. 11	
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2018. 1	
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2019. 11	
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2020. 12	
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2021. 3	
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2023. 12	
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2025. 1	
			ごみが少ない	スチール製飲料用缶	2020. 9	
ごみが少ない			紙製容器 (飲料用紙パック等)	2023. 9		
ごみがほとんどない			食品の容器包装 (プラスチック)	2022. 12		
2023年以前 (個)				22		
2024年以降 (個)				5		
釣-3 釣川橋			釣川橋	ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 1
	ごみが多い	コップ、食器 (プラスチック)		2020. 1		
	ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)		2019. 7		
	ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)		2022. 6		
	ごみが多い	アルミの飲料缶		2024. 12		
	ごみが多い	スチール製飲料用缶		2022. 11		
	ごみがほとんどない	アルミの飲料缶		2025. 1		
2023年以前 (個)				4		
2024年以降 (個)				3		

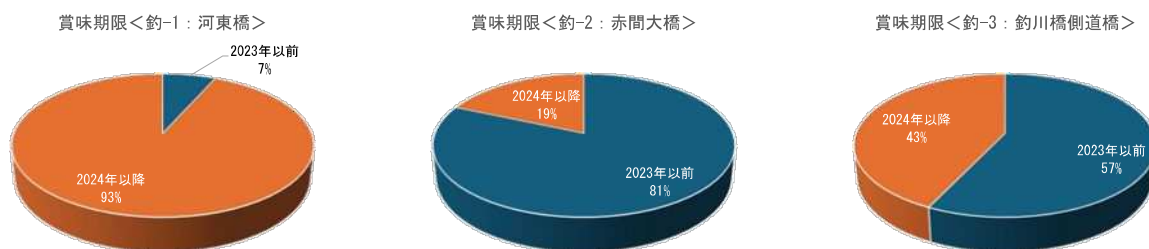
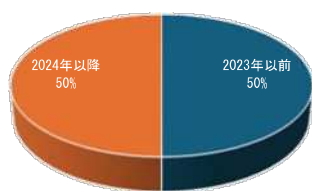


図4-2-30 回収したごみの賞味期限<釣川>

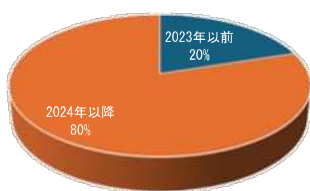
表4-2-17 回収したごみの賞味期限<長峡川>

河川	調査地点	調査箇所	品目	賞味期限 (年.月)	
長峡川	長-1	古川橋	ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2022. 11
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 7
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 7
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2022. 1
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2023. 2
			ごみが多い	食品容器 (ガラス・陶器)	2026. 4
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2022. 6
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2023. 1
			ごみが少ない	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 3
			ごみが少ない	飲料用 (ペットボトル) ≥ 1L	2025. 1
			ごみが少ない	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 1
			ごみがほとんどない	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2023. 2
			ごみがほとんどない	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 2
			ごみがほとんどない	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 4
	ごみがほとんどない	アルミの飲料缶	2018. 6		
	ごみがほとんどない	アルミの飲料缶	2019. 11		
	2023年以前 (個)				8
	2024年以降 (個)				8
	長-2	稗田橋	ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2022. 9
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 3
			ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 3
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 1
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 1
			ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 1
			ごみが多い	紙製容器 (飲料用紙パック等)	2024. 3
			ごみが少ない	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 1
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2024. 9
			ごみがほとんどない	食品の容器包装 (プラスチック)	2023. 2
	2023年以前 (個)				2
	2024年以降 (個)				8
長-3	折口橋	ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2016. 4	
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2022. 4	
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2023. 6	
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 4	
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 6	
		ごみが多い	飲料用 (ペットボトル) ≥ 1L	2021. 11	
		ごみが多い	食品の容器包装 (プラスチック)	2024. 6	
		ごみが少ない	飲料用 (ペットボトル) < 1L	2024. 6	
		ごみが少ない	スチール製飲料用缶	2023. 11	
		2023年以前 (個)			
2024年以降 (個)				4	

賞味期限<長-1: 古川橋>



賞味期限<長-2: 稗田橋>



賞味期限<長-3: 折口橋>

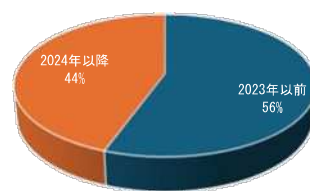


図4-2-31 回収したごみの賞味期限<長峡川>

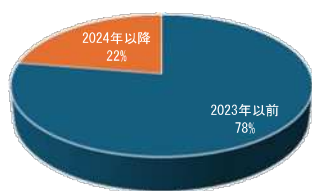
表4-2-18 回収したごみの賞味期限<建花寺川>(1/2)

河川	調査地点	調査箇所	品目	賞味期限 (年.月)	
建花寺川	建-1	二瀬橋	ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2013.3
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2015.5
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2015.9
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2017.5
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2019.6
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2020.9
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2023.4
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2012.12
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2013.5
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2014.11
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2014.11
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2014.9
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2014.9
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2015.2
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2020.11
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2020.11
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2021.1
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2023.11
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.4.9
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	2012.11
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	2018.3
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	2020.9
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	2021.11
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2014.4
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2015.2
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2022.3
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2023.5
			ごみが多い	食品容器(発泡スチロール)	2014.8
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2013.8
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2018.4
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2018.8
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2019.3
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2023.1
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.3
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.4
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.11
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2010.12
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2013.5
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2015.4
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2016.11
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2017.9
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2018.2
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2018.2
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2023.9
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2024.7
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2024.9
			ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) < 1L	2023.11
			ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.3
			ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.4
			ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.5
ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.6			
ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	2022.2			
ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	2024.6			
ごみがほとんどない	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.5			
ごみがほとんどない	食品の容器包装(プラスチック)	2023.12			
ごみがほとんどない	食品の容器包装(プラスチック)	2024.5			
ごみがほとんどない	食品の容器包装(プラスチック)	2024.6			
ごみがほとんどない	アルミの飲料缶	2023.11			
ごみがほとんどない	スチール製飲料用缶	2020.11			
2023年以前(個)				45	
2024年以降(個)				14	

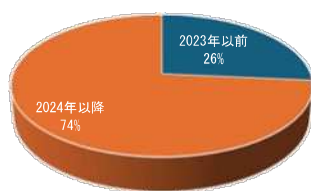
表4-2-17 回収したごみの賞味期限<建花寺川>(2/2)

河川	調査地点	調査箇所	品目	賞味期限 (年.月)	
建花寺川	建-2	伊岐須橋	ごみが多い	飲料用(ペットボトル)<1L	2022.8
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル)<1L	2022.12
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル)<1L	2024.4
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル)<1L	2024.8
			ごみが多い	食品容器(ガラス・陶器)	2026.3
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2020.4
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2022.9
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2022.1
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2023.1
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2023.11
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.1
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.3
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.4
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.6
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.6
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.6
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.6
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.7
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.7
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.7
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.9
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.9
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.1
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.1
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2025.1
			ごみが多い	スチール製飲料用缶	2024.9
			ごみが少ない	食品の容器包装(プラスチック)	2024.5
			ごみが少ない	アルミの飲料缶	2021.12
	ごみが少ない	アルミの飲料缶	2024.1		
	ごみが少ない	アルミの飲料缶	2024.1		
	ごみがほとんどない	飲料用(ペットボトル)<1L	2024.4		
	ごみがほとんどない	飲料用(ペットボトル)<1L	2024.4		
	ごみがほとんどない	アルミの飲料缶	2023.1		
ごみがほとんどない	アルミの飲料缶	2024.9			
2023年以前(個)				9	
2024年以降(個)				25	
建-3	立花下橋	ごみが多い	アルミの飲料缶	2017.1	
		ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.5	
		ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.8	
2023年以前(個)				1	
2024年以降(個)				2	

賞味期限<建-1:二瀬橋>



賞味期限<建-2:伊岐須橋>



賞味期限<建-3:立花下橋>

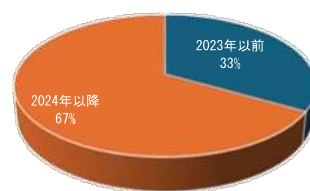
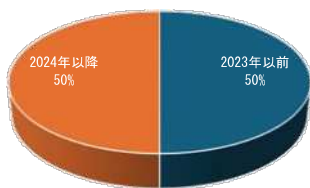


図4-2-32 回収したごみの賞味期限<建花寺川>

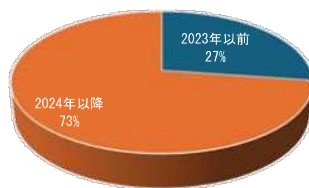
表4-2-19 回収したごみの賞味期限<堂面川>

河川	調査地点	調査箇所	品目	賞味期限 (年.月)	
堂面川	堂-1	仮屋前橋	ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2023.9
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2023.1
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2023.1
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2023.1
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.7
			ごみが多い	食品容器(プラスチック)	2024.1
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2022.1
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2023.2
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2024.4
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.1
			ごみが多い	紙製容器(飲料用紙パック等)	2024.4
			ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.4
			ごみが少ない	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	2023.12
			ごみが少ない	食品容器(プラスチック)	2023.12
	ごみが少ない	アルミの飲料缶	2024.7		
	ごみがほとんどない	食品の容器包装(プラスチック)	2024.1		
	2023年以前				8
	2024年以降				8
	堂-2	七夕橋	ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.2
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2024.7
			ごみが多い	飲料用(ペットボトル) < 1L	2025.2
			ごみが多い	食品容器(プラスチック)	2024.1
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2023.8
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2023.11
			ごみが多い	食品の容器包装(プラスチック)	2023.12
			ごみが多い	食品容器(ガラス・陶器)	2026.4
			ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.7
			ごみが多い	紙製容器(飲料用紙パック等)	2024.5
			ごみが少ない	紙片(ダンボール、新聞紙等を含む)	2024.1
	2023年以前				3
	2024年以降				8
	堂-3	前丁橋	ごみが多い	アルミの飲料缶	2024.3
ごみが多い			アルミの飲料缶	2024.1	
ごみが多い			アルミの飲料缶	2024.4	
ごみが多い			アルミの飲料缶	2024.2	
ごみが多い			アルミの飲料缶	2024.7	
ごみが多い			アルミの飲料缶	2024.8	
ごみが少ない			アルミの飲料缶	2025.5	
ごみが少ない			アルミの飲料缶	2025.5	
ごみがほとんどない			アルミの飲料缶	2024.1	
2023年以前				0	
2024年以降				9	

賞味期限<堂-1: 仮屋前橋>



賞味期限<堂-2: 七夕橋>



賞味期限<堂-3: 前丁橋>



図4-2-33 回収したごみの賞味期限<堂面川>